鈴鹿工業高等専門学校	電子情報工学科	開講年度	令和06年度 (2024年度)
学科到達目標			

電子情報工学科では、電気・電子および情報・通信の理論と技術に基づく教育を行う。

そのために, 高専教育の特徴である早期5ヶ年一貫教育により、電子情報工学に関する知識と、豊富な実験技術を習得した実践的技術者を育成 する。

本学科の学生は、以下の姿勢のもとに知識・能力の修得を目指す。

(A) 技術者としての姿勢

- <視野> 自己と世界の関係を理解し地球規模で物事を眺める。
- <技術者倫理> 生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚する。
- <意欲> 習得した知識・能力を超える問題に備えて、継続的・自立的に学習する。
- (B) 基礎・専門の知識とその応用力
- 〈基礎〉 数学、自然科学および情報技術の知識を習得している。
- <専門> 電子情報工学と関連分野の知識を習得している。
- <展開> 習得した知識をもとに創造性を発揮し、電気・電子および情報・通信技術を融合し、チームで新たな価値を生みだす能力を習得してい る。

(C)意思伝達・討論能力

- <発表> 自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に記述・伝達・討論できる。
- 〈英語〉 英語による技術文書の記述・読解ができる。

【実務経験のある教員による授業科目一覧】

合計単位:8単位																							
		学科		開講年次	- 1	共通学		専門・ 一般				科	相名				単位	立数		実	务経属	倹のある 教	対員名
		電子情報工学科		本4年	_	学科		専門			Í	電子	² 回路]	I				1				飯塚昇	
		電子情報工学科		本4年		学科		専門					報工学		负			1	飯」	冢昇		山俊弘、 ³	平野 武範
		電子情報工学科		本4年	ŧΤ	学科	科専門			IoTシステム工学					2 青		与山俊弘						
		電子情報工学科		本4,5	本4,5年 学			科専門			計算機工学				2				Ē	 当山俊弘			
		電子情報工学科		本4年	本4年 学科							1			企	企業担当者							
		電子情報工学科		本5年	5年 学科 専門 インターンシップ 1				企	企業担当者													
								別週当	-		ţ		0.45			45			1				
科目	国区	授業科目	科目番 単位 号 別		 単位	大数	1年 前	後		年	後		3年 前	後		4年 前	後	<u>.</u>	5年 前		 後	担当教	履修上
分		JXXII I	号	別	- 1-	T X X		15g 2 3 4 Q Q Q			-	4 Q	1 2 Q Q	_	4 Q		2 3 Q Q				接 3 4 Q Q	_ 員	の区分
- 般	必修	化学	0001	 履修単 位	2		2	2		I								Ī				山崎賢	Z
一般	必修	国語 I A	0003	履修単 位	2		2	2														石谷 看樹	ř
— 般	必修	国語 I B	0004	履修単 位	1		2															熊澤 美	•
— 般	必修	歴史 I	0005	履修単 位	2		2	2														藤野 月子	
— 般	必修	現代社会 I	0006	履修単 位	1		2															一藤野月 一子,富 田 暁	
—	必修	英語 I A	0007	履修単 位	4		4	4														日司浩松江長み古百円の	Z
— 般	必修	英語 I B	0008	履修単 位	2		2	2														古野百合	Ī
— 般	必修	保健体育	0009	履修単 位	2		2	2														宝来 毅	
一般	選択	美術	0010	履修単 位	1			2														久留原 昌宏 ,松原 豊	
— 般	選択	音楽	0011	履修単 位	1			2														久留原 昌宏 - 阿部 浩子	

一般	選択	書道	0012	履修単位	1		久留原 昌宏 ,樋口 弓弦
—	選択	海外語学実習	0013	履修単 位	1	集中講義	全学科 全教員
— 般	必修	情報処理 I	0016	履修単 位	1	2	遠藤 健太
— 般	必修	情報セキュリティ概論	0020	履修単 位	1	2	遠藤 健太
— 般	必修	基礎数学A	0021	履修単 位	4	4 4	飯島 和人
— 般	必修	基礎数学B	0022	履修単 位	2	2 2	川本 正治
— 般	必修	物理 I	0023	履修単 位	2	2 2	丹波 之 宏
専門	必修	電気電子基礎I	0002	履修単 位	1	2	森 育子
専門	必修	工学基礎実験	0014	履修単位	1	2	伊藤明 /田添 大平野 / 遠藤 健太
専門	必修	プログラミング	0015	履修単 位	2	2 2	田添 丈 博,青 山 俊弘
専門	必修	電子情報工学実験	0017	履修単 位	2		平野 武 範療明 森森,子,桑 成子,
専門	選択	創造工学演習	0018	履修単 位	1		創造活 動プロ ジェク ト 担当 教員
専門	選択	インターンシップ	0019	履修単 位	1	集中講義	各学年 担任

	工業高等	 専門学校	開講年度 令和06年度 (2	 2024年度)	授業科目	 国語 I A
科目基礎		131 33 12	12 12 12 12 12 12 12		22213111	
科目番号	~113TIA	0003		科目区分	一般 / 必修	<u> </u>
<u></u>		授業		単位の種別と単位	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
開設学科		電子情報		対象学年	1	_
開設期 開設期		通年	X=3,1.	週時間数	2	
教科書/教	材		「高等学校 言語文化」(数研出版) (ブレーン)参考書:「五訂版 常用漢:	, 「高等学校 現代 字アルファ」(桐原	の国語」(数研出	出版),「日本近代文学選 増補版
23教員		石谷 春				
到達目標	<u> </u>	•				
評論、小詞	党、詩歌なる		日本語の文章を学習することにより、日 ることができる。	本語への理解力・表	現力を高めるとと	ともに、文学のもつ素晴らしさや、
ルーブリ	ノック					
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安
平価項目1	L		評論・小説・詩歌などの現代の応 用的な文章について理解すること ができる.	評論・小説・詩歌: 本的な文章につい ができる.	などの現代の基 て理解すること	評論・小説・詩歌などの現代の基本的な文章について理解することができない.
平価項目2	2		語彙・文章などの応用的な表現能力を身につけることができる.	語彙・文章などの 力を身につけるこ		語彙・文章などの基本的な表現能力を身につけることができない.
平価項目3	3		文学の持つ素晴らしさや学ぶ意義 について十分に理解することができる.	文学の持つ素晴ら について理解する		文学の持つ素晴らしさや学ぶ意義 について理解することができない
学科の至	到達目標項	目との別	月係			
数育方法	 去等					
既要	_	本科目はの学生との基礎を	は、高等専門学校の国語の基礎能力を「3 として中学校までの学習の復習を含めな □識の獲得と、読解力の向上、及び的確	現代文・表現」の分 がら、高専生、そし な表現能力を養うこ	野を中心に身にて て現代に生きるE とを目標にする。	Oけさせる。具体的には、第1学年 日本人として必要な近代、現代文学
受業の進め	め方・方法	・すべて ・授業は	この内容は学習・教育到達目標(A)の (社 は講義・演習形式で行う。講義中は集中 は計画」における各週の「到達目標」は、	現野〉および(C) して聴講する。	の〈発表〉に対応	
注意点		、マース 、マース で <	得要件>与えられた課題レポート等をする。 くトにより、学業成績で60点以上を取得 いじめ要求される基礎知識の範囲> 工業程度の国語の知識および能力を身に ・ト等> かけるために、随時演習課題を与え、提供 授業中は学習に集中し、内容に対して積 技術目である。 くトのない日はスピーチを実施する。 くトの範囲:第1回(P.5~P.13)第2回 ・P.55)第6回(P.61~P.69)第7回(P.55)第6回(P.61~P.69)第7回(P.61	得すること。 つけていることが必 出させる。また夏期 責極的に取り組むこ。 に学習する国語Ⅱ、 (P.15~P.23)第3	要である。 休業中の宿題とし と。疑問が生じた 日本文学、言語表 回(P.25~P.33)	ノて、外部コンクールに応募する。 ら直ちに質問すること。また、課 長現学Ⅰ・Ⅱ、文学概論Ⅰ・Ⅱの基
 受 業 の属	属性・履修	- を上の区分	}			
	イブラーニ		」 □ ICT 利用	□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授
_ , , , ,	1//			~_mix_*/iii/		- Name and Association Oly
受業計画	 61					
~~~"	Ī	週	授業内容	16		
前期	1stQ	1週	本授業の概容および学習内容の説明	12 月 - 3 の た 4 に る 5 配 そ 7	議について理解している。 論、ディベートなどを行い、自分の 現することができる。(コミュニク 成) 近路まえ、相手に説得力をもって自 伝える感想文・小論文等を書くこと けっの養成) トリオや映像作品などを創作するこ 情を作品として表現することができ 像力の養成) レファ」に基づき、漢字小テストを 会人として必要な漢字・語彙力を習 字・語彙力の養成) ける常識・規則を理解している。	
		2週	評論 水の東西 (山崎正和) ①	で   8   9   を   1	な表現に使われる漢字・語句についきと用法を習得している。 引上の特色を理解することができる。 作者の意図を理解し、論理の展開できる。 、各段落、および全体の要旨につ	
		3週	   評論 水の東西(山崎正和)②		<u> </u>	
	1		plum ハマントド (HPULTI) C			, IOCINO

		4週			上記1~6、上記7~10	<b>ν</b> ⊟ι"
		5週	評論 水の東西(山崎]		上記1~6、上記7~10	·
		6週	評論・新聞記事など	<u> </u>	上記1~6、上記7~10	_,
		7週	評論・新聞記事など		上記1~6、上記7~10	
		8週	前期中間試験		これまで学習した内容を	·
		9週	前期中間試験の反省小説の伊豆の踊り子(川	端康成)①	上記1~6と同じ。 11. 小説の文学的な表現 て、正確な読み書きと用 12. 小説のあらすじを把 を理解することができる。 13. 小説について、終賞	記に使われる漢字・語句につい 法を習得している。 握し、登場人物の心情・行動 能力を養い、自分の感想を文 る。 史的知識を身につけ、作品が
	2ndQ	10週		端康成) ②	上記1~6、上記11~142	
		11週	小説 伊豆の踊り子 (川		上記1~6、上記11~14	·
		12週	小説 伊豆の踊り子 (川		上記1~6、上記11~14	·
		13週	小説 伊豆の踊り子(川		上記1~6、上記11~14台	
		14週	表現・読書体験記を書く		上記1~6、上記11~14台	•
		15週	表現 エッセイを書く	`	上記1~6、上記11~14台	
		16週	200 = 2 = 1 = 1			
		1週	前期末試験の反省 短歌・俳句①		て, 正確な読み書きと用 16. 詩歌について、作者 把握することができる。 17. 詩歌について、鑑賞 章にまとめることができ	の意図を理解し、表現技巧を 能力を養い、自分の感想を文 る。 史的知識を身につけ、作品が
	2 10	2週	短歌・俳句②		上記1~6、上記15~18	∴同じ。
	3rdQ	3週	短歌・俳句③		上記1~6、上記15~18と	二同じ。
		4週	短歌・俳句④ 表現 短歌の創作		上記1~6、上記15~18	⊆同じ。
		5週	詩 サーカス(中原中也	2) ①	上記1~6、上記15~18と	≤同じ。
≪ Ħ□		6週	詩 サーカス(中原中也	3) ②	上記1~6、上記15~18と	≤同じ。
後期		7週	詩 サーカス (中原中也 表現 詩の創作	3) 3	上記1~6、上記15~18と	≤同じ。
		8週	後期中間試験		これまで学習した内容を	説明することができる。
		9週	後期中間試験の反省 小説 羅生門(芥川龍之	2介) ①	上記1~6、上記11~14台	≤同じ。
		10週	小説 羅生門(芥川龍之	2介)②	上記1~6、上記11~14と	≤同じ。
		11週	小説 羅生門(芥川龍之	2介) ③	上記1~6、上記11~14と	:同じ。
	4thQ	12週	小説 羅生門(芥川龍之	2介) ④	上記1~6、上記11~14と	:同じ。
	TuiQ	13週	小説 羅生門 (芥川龍之		上記1~6、上記11~14と	:同じ。
		14週	小説 羅生門(芥川龍之	2介)⑥	上記1~6、上記11~14년	·
		15週	小説 羅生門(芥川龍之 年間授業のまとめ	2介) ⑦	上記1~6、上記11~14 d 19. 年間授業内容の意義	
		16週		-		
	コアカリ	1	の学習内容と到達目標			
分類	_	分野	学習内容  学習	内容の到達目標		到達レベル 授業週
評価割金	合			T		_
DI IMIDI		4_=	験	課題・ノート提出	小テスト	合計
рт імідэ		証	时天			<del>                                    </del>
総合評価	割合	部 60		20	20	100

鈴胆	<b>鹿工業高等</b>	専門学校	開講年度	令和06年度 (2	2024年度)	授	業科目	国語 I B			
科目基	礎情報										
科目番号		0004			科目区分		一般 / 必				
授業形態	-	授業			単位の種別と単位	位数	履修単位	: 1			
開設学科	1	電子情報工	学科		対象学年		1				
開設期		前期			週時間数		2				
教科書/勃	<b>教材</b>	教科書:「   参考書・石	高等学校言語文化 谷春樹編「日本近	辽」(数研出版) 近代文学選 増補版	」(アイブレーン	)					
担当教員	i	熊澤 美弓			. () 1) 0	,					
到達目		J.W. 1 2 2 3									
		 当代の人間の考	ニーニー え方や生き方を知	   ることから始まり		<u>きる日</u> z	 本人として	 [必要な「古典文学」の基礎知識の獲			
得と読解	力の向上を	果たすことがて	ぎる.		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
ルーブ	リック										
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目	安	未到達レベルの目安			
			古文・漢文につい	ハて,音読・朗読も ことにより,特有の	古文・漢文につい	いて、音	売・朗読も	、 10爻、戻爻についし,自説、励説で			
評価項目	1		リズムや韻など	リズムや韻など	ここにょ を味わう	いけ,村有の	ノーニノは啐吗」 ケチ 怯ちのロブルを				
			ことができる.		きる.			関係とを味りりととか くさない			
			代表的な古文・流表現方法の特徴を	代表的な古文・表現方法の特徴を	漢文を読 をふまっ	あ,言葉や て 人 物・	や 代表的な古文・漢文を読み,言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・				
評価項目	12		情景などを理解	し,人間・社会・自	情景などを理解	した人間	<ul><li>社会・自</li></ul>	╕│情景などを理解したり 人間・社会			
			然などについて   げたりすること	考えを深めたり広 ができる.	然などについて	考えるこ	ことかでき	・自然などについて考えることか できない.			
			教材として取り。	 上げた作品につい	教材として取り.			教材として取り上げた作品につい			
評価項目	13		て,用いられてい	る言葉の現代の言 や,時代背景などに	て,用いられてい	る言葉の	の現代の言	て.用いられている言葉の現代の			
<b>小川沿口</b>	10		関する古文・漢	で、時代自豪などに 文の基礎的知識を	葉とのつながり   関する古文・漢	こっぱい	ョ 京るこれ	関する古文・漢文の基礎的知識を			
	:-		習得できる.		理解できる.			理解・習得することができない.			
		頁目との関係	Ŕ								
教育方	法等										
		本科目は,	高等専門学校の国	語の基礎能力を「	古文・漢文」の分	野を中心	いにして身	)につけさせる. まず, 「古典」学習			
既要		い思我 (()   す. ) を再	リヨ時の人々の考別 確認する. 具体的	ヘク, エさクを知る ]には, 中学校まで	ァ、(Z)ロ典を選し の古典学習の総復	こ児代の 習を含め	シロガにち かながら,	の生活、考え方、生き方を捉えなお 高専生としてそして現代に生きる日			
		I									
受業の進	め方・方法	・すべての	)内容は学習・教育 議・演習形式で行	『目標(A)の<視 「う. 講義中は集中	野><意欲>,及 して聴講する	ひ (C)	のく発表	き>に対応する.			
	/ / / /	・「授業計	画」における各週	の「到達目標」は	この授業で習得す	る「知識	畿・能力」	に相当するものとする.			
		[達成目標	の評価方法と基準	[]	た問題を 1 同の由	四字本	1回の守	E期考査とレポート・小テスト等で出			
		題し、目標	の達成度を評価す	る.各「到達目標	」の重みは概ね均	高っ <u>ま</u> , 等する.	合計点の	- 朔号直とレバード・小ゲスト寺と山 060%の得点で,目標の達成を確認で			
			の試験を課す。 の評価方法および	「評価基準】							
		後期中間・	学年末の2回の記	験の平均点を6.0%	6,課題提出,小テ	スト, 丼	受業中の問	題演習への取り組み等の結果を 再試験は行わない.			
<b>冷幸 ⊢</b>		単位修復	要件				則として	井武徳(は行わない.			
注意点		与えられた	演習課題を提出し	, 学業成績で60 知識の第四2	点以上を修得する	こと.					
		甲字校坐業	えられた演習課題を提出し,学業成績で60点以上を修得すること. あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 学校卒業程度の国語能力,特に「古文・漢文」についての基礎学力を身につけていることを前提とする.								
			子校卒業柱度の国語能力,特に「古文・漢文」についての基礎子力を身についていることを前提とする。 レポート等] 解を深めるため,すべての教材に演習課題を与える.また,古典文法小テスト,課題提出等を課する.								
		「注意事項	[]		•		· ·				
		授業中は学	『督に集中し,内容 『する国語Ⅱ 日本	ドに対して積極的に 文学、言語表現学	取り組むこと. ま . 文学概論の基礎	た,課是 になる₹	退は期限魔 斗目である	5、 5、なお、本教科			
受業の	屋性・履ん		,, venu, ut	人, 白山红池丁		, w w/l	<u> </u>				
	<u>(禹)エ・//後)</u> ティブラーニ		☑ ICT 利用		□□遠隔授業対応	<u>.</u>		□ 実務経験のある教員による授			
_ , , ,	· 1 / / -		120 13/11								
受業計	面										
<u> </u>		週 授				調ごと	の到達目標	<b>西</b>			
		1	スキャッ <del>ロ</del> ブイダンス			_					
		1週	■文入門および学習	習方法について (	「言語文化と古		古典」の『 を確認する	学習の目当ての意義を理解し, 学習す る.			
			₹])								
		_t	5文入門および学習	習方法について (	「古文の特徴」	Z . 首   文を読	stを選し むための基	て現代文との違いに注意しながら,さ 基礎(歴史的仮名遣い等)を理解してい			
		2週  )				る.		· ,			
			「児のそら寝」①	,	5. 登   , 古文	場へ初の♪ を読むた♪	心理に注目して,古文の世界を理解し めの基礎(品詞等)を理解している.				
		3週	「児のそら寝」(	2		・3に同し					
前期	1stQ	<b>⊿</b> ≟⊞	文の文法(品詞分		4.古典	文法の基	礎学習(動詞・形容詞・形容動詞)(				
-3/43		+ / / ·	形容動詞」)			学習内	容を理解し	している.			
		5週 🕅	5筆 「つれづれな	よるままに」(『徒	然草』)	5.前期	前期中間試験の内容を理解した上で,三大随筆のそ ごれの文学的価値を理解している.				
		RX RX	  <b></b>	品射ることを習ふに			□□で達解している。 生観および「徒然草」の世界観を理解				
					」 ( □ NL M(干 I	し, 古	典文法の基	主観のより「他然学」の色が観で生活。 基礎学習の学習内容を理解している.			
		NA DE		引射ることを習ふに	」(『徒然草』	7.古文	ー を読むた	 めの基礎 (係り結び等)を理解し、 前			
			② 前期中間までの復習	2		7.古文を読むための基礎(係り結び等)を理解し、 期中間までの学習内容を理解している.					
			シャット こうり こうり 区口	-		1					

前期中間試験

8週

前期中間試験

		9週	前期中間試験 <i>©</i> 漢文入門	D解説と総括		8. 前 を学ん	期中間試験の内容を理解 で,漢文訓読の基礎(訓	した上で,漢文の特色 点・書き下し文等)を			
			訓読・返読文字	<b>P</b>		理解し	ている.				
		10週	漢文入門 再読文字・助写	<b>7</b>		9. 漢 読文字	文の特色を学び,漢文訓 等)を理解している.	読の基礎(置き字・再			
		11週	故事 虎借威の否定・疑問の行	D(「戦国策」) 可法		10. 故事成語の学習を通して, 戦国時代の諸国と遊説家の言行を理解し, 漢文の句法(否定・疑問)を理解している. 11. 故事成語の学習を通して, 文学史的価値を理解し, 漢文の句法(反語・感嘆)を理解している.					
	2nd0	12週	故事 虎借威の 反語・感嘆の も	②(「戦国策」) 句法			上記10·11に同じ				
	2ndQ	13调	歌物語 「芥」			12. 音読を通して現代文との違いに注意しながら, 古典文法の基礎学習(助動詞)の学習内容を理解している。					
		13/5	歌物語 「芥川」①(「伊勢物語」)			13. 登場人物の心理に注目して, 古文随筆の世界を理解し, 古典文法の基礎学習(助動詞)の学習内容を理解している.					
		14週	歌物語 「芥」 和歌の修辞①	」②(「伊勢物語」)		上記12・13に同じ					
		15週	歌物語 「芥」 前期末までの役 授業のまとめ	」③(「伊勢物語」) 复習 (アンケート)		上記8~	~13に同じ				
		16週									
モデルコ	アカリキ	ユラムの	学習内容と	到達目標							
分類		分野	学習内容				至	達レベル 授業週			
評価割合	ì	•					1				
	-	試験		課題・提出物	小テスト・発表			合計			
総合評価割	合	60		20 20			0	100			
配点	·	60	·	20 20			0 100				

	 門学校	開講年度	令和06年度 (2	2024年度)	授業科目	保健体育
科目基礎情報						
科目番号	0009			科目区分	一般 / 必	·修
授業形態	授業			単位の種別と単位数		
成果心思 開設学科	電子情報工学	<b>₹</b> 8		対象学年	1	. 4
用政子件 開設期	電子  報工子   通年	17		週時間数	2	
			1+		2	
教科書/教材		<u> アツノアツノ局</u>	校スポーツ(大修	館書店)		
担当教員	宝来 毅					
到達目標 成長期であるこの時期(	で運動を通して	基礎体力を高め		達を促すとともに	生涯を通じて過	重動を楽しむことができる
健康な生活を営む知識 他と協調して積極的に記	・態度を育むこ	とができる.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
ルーブリック						
	H	型想的な到達レ/	ベルの目安	標準的な到達レベル	レの目安	未到達レベルの目安
			<u>、</u> の で、周囲の状況と	スポーツを通じて,		
評価項目1	<b>自てたるし幸性に月</b>	目身のでは、 ででで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	らし、自らの考え、自らの考え、自らののののののののののののののののののののののののののののでは、 では、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、は、は、いった。 でいるでは、これでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然の表には、自然のもの。   「如果のまには、自然のもの。」  「如果のまには、自然のもの。」  「如果のまには、自然のもの。」  「如果のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のもの。  「如果のまには、自然のもの。」  「如果のまには、自然のは、自然のもの。」  「如果のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のまには、自然のは、自然のは、自然のは、自然のは、自然のは、自然のは、自然のは、自然の	自身では、 自身では、 は、 の任がるたけ、 にの必ずででは、 にの必ずででは、 にの必ずでででででででででででででででででででででででででででででででできる。 にの必ずででできる。 にの必ずでできる。 にの必ずでできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にのできる。 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいる。 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいる。 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいるに、 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 に、 に、	ノ、 は は に は に に に に に に に に に に に に に	自身の立場に照らし、自らの考えるで責任を持って必要な行動をとることができない。そして、リーがとるべき行動や役割を認識でいまたリーダーシップの発揮の際には情報収集やチーム内での適切ない。方向性に沿った協調行動を促すことができない。
評価項目 2	ご話重,,ミ,て、の重修で	マース・リース・リース・リース・リース・リース・リース・リース・リース・リース・リ	で果ら上、 一、	で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	意 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	スポーツを通じて、チームない。 ・共同することの意義の知果を犯す。 ・共同することの意義の自た上のが対し、メンバーとし握したした。 動,発言、修情をコショすすらいでは、 ・自身の感情をコショすすらいでし、 ・ロニン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価項目3	フにお行らている。	スポーツを通じて 可けて計画を立て おける時間管理, いながら,その らを律した行動の	て, 目標の実現に て, 目標の生活に 健康管理などを D実現に向けて自 D応用ができる。 日常の生活におけ 東管理などの応用	スポーマー スポーマー でして、 向けてる時間できます。 でして、 何行いながしてです。 できをををできるができるがで、 健康できるができるができる。	日常の生活に 建康管理などを 実現に向けて自 できる.	向けて計画を立て、日常の生活に   おける時間管理、健康管理などを   行いながら、その実現に向けて自   らを律して行動ができない。
- 学科の到達目標項I		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		1/2 CC 01		1000
	コロジスが					
教育方法等						
概要	を自覚し, チ  を高め, 心身  保健  「保健」の授	ームの力量に応 の健全な発達を 業では,現代社	じた練習やゲーム 促す. 会の健康, 生涯を	ができるようにする。	. また,実践す 生活における傾	を受ける
授業の進め方・方法	授業は保健(	座学)と体育実	育到達目標(A)< 技(実技)を同時 「到達目標」はこ	意欲>に相当する 間内に行う. の授業で到達する「?	知識・能力」に	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
注意点	90 技術のでは、	テストにより評体育館使用や,件> 生により60点要求される基礎)バスケットボで学んだ保健のどと	技を行う. 保健は価を行う. 保健は価を行う. 評価は悪天候に伴う授業 以上取得すること 知識の範囲 > ール, (後期) 卓 内容及び一般常識	,保健30%及び体育 実施の可不可により 球について、競技上	実技70%を合決 、実技の種目内 のルールを事前	を用いて行う)により評価を行い わせて総合的に評価する。ただし、学 お容や授業形態が変更になる可能性が がに学習し、覚えておくこと。 は場合がある。
授業の属性・履修」		=, -,				
文来の周1年・1後16. 」アクティブラーニン		ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業
受業計画						
	<b>週</b> 授業	 内容		涯	ごとの到達目	

				T
		1週	実技:ガイダンス (体操服の着用マナー,授業の集合について,体育館シューズの記名) 保健:運動・休養と健康	実技:体育実技の授業の流れについて知る.体操服・体育館シューズを使用する際のルールを知る 前期の 授業の流れについて理解できる 保健:健康からみた運動の意義について正しく理解す ることができる
		2週	スポーツテスト	協力し合って基本データを計測できる
		3週	スポーツテスト	協力し合って基本データを計測できる
		4週	スポーツテスト	協力し合って基本データを計測できる
	1stQ	5週	実技: バスケットボール (ルール, 基本動作, ドリブル) 保健: 交通事故について	実技:ルールを理解することができる.ボールを正確にドリブルすることができる 保健:交通事故が身近で危険である事を知り,自転車通学に対する安全意識を向上できる
		6週	実技: バスケットボール(ドリブル, パス, フリースロー) 保健: 応急手当について(1)	実技:ボールを正確にドリブルすることができる. フリースローを打つことができる. 相手に正確にパスができる 保健: 応急手当についての知識・方法を正しく理解することができる
		7週	実技:バスケットボール(ドリブル,レイアップ) 保健:応急手当について(2)	実技:ボールを正確にドリブルすることができる.レイアップ動作ができる. 保健: 応急手当についての知識・方法を正しく理解することができる
前期		8週	実技:バスケットボール (攻守の動き) 保健:熱中症について	実技: これまでにやってきた内容を発揮できる 保健: 熱中症についての知識・対処方法を正しく理解 することができる
	2ndQ	9週	実技:バスケットボール(練習試合) 保健:健康の考え方と成り立ち・私たちの	実技:取り組んできた内容が試合で出せる 保健:「健康」とは何か,ということについて,自分なりの考えを持ち,心身共に健康に過ごすための知識 を身につけることができる.また,健康に過ごすため に自分ではどのよ うな行動をするべきか考える事ができる.
		10週	実技:バスケットボール(リーグ試合) 保健:生活習慣病とその予防	実技:試合の運営ができる 保健:生活習慣病に対する正しい知識を持ち,日常生活において,食事,運動,休養などの面から生活習慣病の予防に役立つ知識を身につけることができる
		11週	実技:バスケットボール(リーグ試合) 保健:食事と健康	実技: 試合の運営ができる 保健: 健康的な食生活の重要性と意義について理解で きる.
		12週	実技:バスケットボール (リーグ試合) 保健:実施しない	実技:試合の運営ができる
		13週	実技 : バスケットボール(技術テスト)  保健 : 実施しない	実技:試合の運営ができる
		14週	実技:バスケットボール(技術テスト・リーグ) 保健:実施しない	実技: これまで練習してきたバスケットボールに関する動きを表現する事ができる
		15週 16週	まとめ	前期の反省・まとめを行う
		1週	体育祭の種目練習	実技:協力して運営することができる
		2週	体育祭に振替	実技:積極的に参加することができる
		3週	実技:卓球(基本の打ち方1)保健:喫煙と健康	実技:ラケットの持ち方・打ち方を理解できる 保健:喫煙が健康に及ぼす影響について正しく理解す ることができる
		4週	実技:卓球 (基本の打ち方2) 保健:飲酒と健康	実技:サーブ動作ができるようになる 保健:飲酒が健康に及ぼす影響について正しく理解することができる
	3rdQ	5週	実技:卓球(基本の打ち方3) 保健:薬物乱用と健康	実技:継続してラリーをすることができる 保健:薬物乱用が健康に及ぼす影響について正しく理 解することができる
	3.44	6週	実技:卓球(基本の打ち方4) 保健:精神疾患の特徴と予防	実技:サーブからラリーまでをスムーズに行う事ができる 保健:精神疾患に関する特徴を把握し、それに対する 予防について正しく理解することができる
後期		7週	実技:卓球(基本の打ち方5) 保健:現代の感染症とその予防	実技:様々な打ち方を理解できる  保健:薬物乱用が健康に及ぼす影響について正しく理  解することができる
		8週	実技:卓球(練習及び練習試合) 保健:欲求・心身相関・ストレス	実技:卓球の基本打ちが理解できる 試合の流れが理解できる 保健:欲求・心身相関・ストレスについて正しく理解し、うまくコントロールする方法を探究することができる
		9週	実技:持久走 保健:実施しない	実技: 2000m走を走りきることができる
		10週	実技:卓球(試合) 保健:実施しない	実技:リーグ戦を行い,結果をまとめることができる
	4+50	11週	実技:卓球(試合) 保健:実施しない	実技:リーグ戦を行い,結果をまとめることができる
	4thQ	12週	実技:卓球(試合) 保健:実施しない	実技:リーグ戦を行い,結果をまとめることができる
		13週	実技:卓球(試合) 保健:実施しない	実技:リーグ戦を行い,結果をまとめることができる
		14週	実技:卓球(試合) 保健:実施しない	実技:リーグ戦を行い,結果をまとめることができる

	15週	まとめ			1年間の反省・ 欲を高める	まとめを行い,	次年度の体	育に対する意
	16週							
モデルコア	カリキュラムの	)学習内容と到達	<b>鞋目標</b>					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目	目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	課題	相互評価	態度	発表	その他	合計	t
総合評価割合	70	0	0	30	0	0	100	)
配点	70	0	0	30	0	0	100	)

	T## July + m	等専門学校	₹ 開講年度 令和06年度 (2					
	礎情報			Tau				
科目番号		0023		科目区分	一般 / 必修			
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:	2		
開設学科	4	電子情報	报工学科	対象学年	1			
開設期		通年		週時間数	2			
教科書/	教材	教科書 出版),	: 「物理基礎」植松恒夫・酒井啓司・下 「センサー総合物理」(啓林館)	田正編(啓林館),参表	書:「フォロ	]ーアップドリル物理基礎」(数研		
担当教員	1	丹波 之	宏					
到達目	標							
力学(及	ひ熱力学の	初歩)に関う	連する物理量を取り扱って必要な計算が	· できる.				
ルーブ	· リック							
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	 )目安	未到達レベルの目安		
評価項目	<b></b> 1		物体の運動に関する応用的な問題を解くことができる.	物体の運動に関する基 を解くことができる.		物体の運動に関する基本的な問題 を解くことができない.		
評価項目	≣2		仕事や熱とエネルギーに関する応 用的な問題を解くことができる.					
―――		<b>直日との</b> 問		1		1		
教育方		スロしい	√ INI					
<u> </u>	<u> </u>	44						
概要		< なれっ   具体的	は、自然の仕組みを調べる学問の基礎と 中学校の理科では、自然の仕組みを言 吏い計算を通して行うという物理学本来 て欲しい。 りには、物理学の中でも、基礎となるカ レギー」等を学ぶ。					
授業の進	<b>並め方・方法</b>		明共に第1週〜第15週までの内容はす 業計画」における各週の「到達目標」は 目標の評価方法と基準>下記授業計画の					
注意点		(各試	成績の評価方法および評価基準>前期中 験につき1回限り、学年末の再試は総合 で加味し、その会計を4で割ったものを:	評価で60未満となる場合	合のみ行う)	四の武殿よどはとれて10分分中武嗣の結果に、 演習課題の評価を最大で		
<b>/</b> 正感		は60点 く単位( くあらが くに る. で る. で ある. で		「ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授美 て理解を確実にすると。	「る. なお再記 「付けた上で監 ばが終わったら にい. 物理は.	『験を経て得る各試験の評価の最大値 記むこと。 6,自宅で,教科書の内容を復習す 1自分で考え理解することが大切で		
	属性・履	は60点 <単位化 <あらが、 <体 間 る。 III・ IV 」	である。 多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 -ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 9集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	「ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授美 て理解を確実にすると。	「る. なお再記 「付けた上で監 ばが終わったら にい. 物理は.	職を経て得る各試験の評価の最大値 記むこと。 6, 自宅で, 教科書の内容を復習す 6分で考え理解することが大切で		
授業の	)属性・履( ディブラー:	は60点 く単位的 くあらが くレポー る。る。 ・ IV 」 修上の区分	である。 多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 -ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 9集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	「ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授美 て理解を確実にすると。	「る. なお再記 「付けた上で監 ばが終わったら にい. 物理は.	、験を経て得る各試験の評価の最大値 記むこと. ら,自宅で,教科書の内容を復習す 自分で考え理解することが大切で 5科目は後に学習する「物理Ⅱ・		
授業の		は60点 く単位的 くあらが くレポー る。る。 ・ IV 」 修上の区分	である。 多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 -ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 質集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように	「る. なお再記 「付けた上で監 ばが終わったら にい. 物理は.	、験を経て得る各試験の評価の最大値 記むこと. ら,自宅で,教科書の内容を復習す 自分で考え理解することが大切で 5科目は後に学習する「物理Ⅱ・		
授業の □ アク	ティブラーニ	は60点 く単位的 くあらが くレポー る。る。 ・ IV 」 修上の区分	である。 多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 -ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 質集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように	「る. なお再記 「付けた上で監 ばが終わったら にい. 物理は.	『験を経て得る各試験の評価の最大値 記むこと。 6,自宅で,教科書の内容を復習す 1自分で考え理解することが大切で		
授業の □ <i>アク</i>	ティブラーニ	は60点 く単位( くあられる) るあ。 IV 修上の区分	である。 多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 類集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとよ いてみる力を養うように	「る. なお再記 「付けた上で留 美が終わったら い、物理は, こ努力する. オ	、験を経て得る各試験の評価の最大値 記むこと. 6, 自宅で,教科書の内容を復習す 自分で考え理解することが大切で		
授業の □ <i>アク</i>	ティブラーニ	は60点 (くは (くは (くしま (を) (を) (を) (を) (は (の) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	である。 を得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように 遠隔授業対応	である。 なお再記 ご付けた上で留 美が終わったら にい、物理は、 ご努力する。 オ	、験を経て得る各試験の評価の最大値 記むこと。 6, 自宅で, 教科書の内容を復習す 自分で考え理解することが大切で ○ 本科目は後に学習する「物理Ⅱ・ □ 実務経験のある教員による授業		
授業の □ <i>アク</i>	ティブラーニ	は60点 (くは60点 (くは) (くしま) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を	である。 多得条件>学業成績で60点以上を取得す。 かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 質集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。 」  ICT 利用  授業内容  授業内容の説明,物理で使う数値	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように  □ 遠隔授業対応	である。 なお再記 では でいます できない いまが終わったらい いまが できない できない できない できない ない できない ない ない ない ない ない かい	は験を経て得る各試験の評価の最大付金を経て得る各試験の評価の最大付金をといる。 自宅で、教科書の内容を復習す 自分で考え理解することが大切で本料目は後に学習する「物理Ⅱ・ □ 実務経験のある教員による授業は知識を有している.		
授業の □ <i>アク</i>	ティブラーニ	は60点 (くは60点 (くは単6) (くくしができた。 (では、10) (を上の区グ (では、10) (を上の区グ (では、10) (は60点 (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では、10) (では	である。 多得条件>学業成績で60点以上を取得す。 かじめ要求される基礎知識の範囲>中学ート等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように 」 遠隔授業対応 週ご 1. 道 2. ;	る. なお再記 に付けた上で にい. 物理は, に努力する. オ との到達目標 数値の基礎的; 速度に関する。	、験を経て得る各試験の評価の最大化 記むこと。 6, 自宅で, 教科書の内容を復習す 自分で考え理解することが大切で ○ 本科目は後に学習する「物理 II・ □ 実務経験のある教員による授業		
授業の □ <i>アク</i>	ティブラーニ	は60点 (460点 (40点 (40点 (40点 (40点 (40点 (40点 (40点 (4	である。 を得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 > 勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  プ  ICT 利用  授業内容 授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように 」 遠隔授業対応 週ご 1. 3 2. 3	である。 なお再記 に付けた上で的 にい。 物理は、 に努力する。 オ との到達目標 数値の基礎的 速度に関する。 2	は験を経て得る各試験の評価の最大化品むこと。  5、自宅で、教科書の内容を復習す自分で考え理解することが大切では料目は後に学習する「物理Ⅱ・  □ 実務経験のある教員による授業は知識を有している。  計算ができる。		
授業の □ <i>アク</i>	ティブラーニ	は60点点(4) は60点点(4) は60点点(4) は60点点(4) は60点点(4) は60点点(4) は7 に できます。 1 と できまます。 1 と できままます。 1 と できままます。 1 と できままます。 1 と できままます。 1 と できまままままままます。 1 と できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	である.  多得条件>学業成績で60点以上を取得すかじめ要求される基礎知識の範囲>中学ート等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ題集の習った範囲の例題,問題等を解いすぐ答えを見ないで,自分の力で考え解の基礎となる科目である.  □ ICT 利用  授業内容 授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとよいてみる力を養うように 」 遠隔授業対応 週ご 1. 3 上記:	である。なお再記で付けた上で的 をが終わったらい。物理は、 でいる。ながある。なができます。ない。 をの到達目標 数値の基礎的で 来度に関する。 2 のは、なおでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	は験を経て得る各試験の評価の最大付款とと、 ら、自宅で、教科書の内容を復習す自分で考え理解することが大切で本料目は後に学習する「物理Ⅱ・ □ 実務経験のある教員による授業は知識を有している。		
授業の □ <i>アク</i>	ディブラー: 画	は60点点 は40点 くくるあ り り が り が り が り が り が り が り が り が り が	である.  多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である.  」  ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように 」 遠隔授業対応	である。なお再記で付けた上で的 だが終わったらい。物理は、 にい、物理は、 に努力する。 オートリー を との到達目標 数値の基礎的で 速度に関する。 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	は無を経て得る各試験の評価の最大付置している。 自宅で、教科書の内容を復習する自分で考え理解することが大切では料目は後に学習する「物理Ⅱ・ 実務経験のある教員による授業は知識を有している. 計算ができる.		
授業の □ <i>アク</i>	ディブラー: 一 画	は60点点 は40点 40点 40点 40点 40点 40点 40点 40点 40点 40点	である。 を得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 堕集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように 」 遠隔授業対応 週ご 1.3 2.3 上記: 4. 落	である。 なお再記 はけけた上で いまが終わったらい。 物理は、 でいまが できまる。 本との 到達 目標 数値の 基礎的 で 速度 に関する 記 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	は無を経て得る各試験の評価の最大付置している。 自宅で、教科書の内容を復習する自分で考え理解することが大切では料目は後に学習する「物理Ⅱ・ 実務経験のある教員による授業は知識を有している. 計算ができる.		
授業の □ <i>アク</i>	ディブラー: 一 画	は60点点 は40点に 40点に 40点に 40点に 40点に 40点に 40点に 40点に	である。 を得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 堕集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  「ICT 利用  「授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射)	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にすると。 いてみる力を養うように 」 遠隔授業対応	である。 なお再記 で は	は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		
授業の □ アク 授業計	ディブラー: 一 画	は60点位(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	である。 を得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  「ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとさいてみる力を養うように 」 遠隔授業対応	である。 なお再記 では でいます できない。 物理は が終わったらい。 物理は がままる。 オール では できない。 から できない。 から できない。 ない できない。 ない できない。 ない できない できない できない できない できない できない できない で	は験を経て得る各試験の評価の最大付金と。  「はいこと。  「はいこと。  「はいこと。  「はいこと。  「はいこと。  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとは、  「はいっとは、 「はいっとは、  「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとはいっとは、 「はいっとはいっとは、 「はいっとはいっとは、		
授業の □ アク 授業計	ディブラー: 一 画	は60点位(4 < < < < るの点位(5 ボース) を	である。 を得条件〉学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲〉中学 ト等〉演習課題を課す。 > 勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 顕集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  □ ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験 力の表し方、いろいろな力	であること. 数学の知識は十分に身にて授業は行われる. 授業では行われる. 授業ではでするとはいてみる力を養うようにはないである力を養うようには、 週ごまた。	である。なお再記で付けた上で開発した。この対象を表して、対象の対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を	は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		
授業の □ アク 授業計	ディブラー: 一 画	は400点位の は440点で 40点で 40点で 40点で 50点で 50点で 50点で 50点で 50点で 50点で 50点で 5	である.  多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 類集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である.  」  ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験 力の表し方、いろいろな力 力の合成と分解、力のつり合い	であること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授美 て理解を確実にするとよいてみる力を養うように □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 3. カート記: 4. 落 上記: これ: 5. 力ート記:	である。なお再記で付けた上で的でいた。 さい終わったらい。物理は、 での到達目標の基礎的ででである。なが、数値の基礎的でででである。なが、 を変して関する。をである。なが、またのでででは、またのでででは、またのででは、またのででは、またのででは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、まに、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、ま	は験を経て得る各試験の評価の最大付金と。  「はいこと。  「はいこと。  「はいこと。  「はいこと。  「はいこと。  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとが大切では、  「はいっとは、  「はいっとは、 「はいっとは、  「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとは、 「はいっとはいっとは、 「はいっとはいっとは、 「はいっとはいっとは、		
授業の □ アク 授業計	ディブラー: 一 画	は400点位の は400点で 10点位の 10点位の 10点位の 10点週 10点週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10	である.	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように 」 遠隔授業対応	である。なお再記で付けた上で的ない。 をの到達目標の基礎的で を放便の基礎的で を度に関する。 を関する。 2 回速度を理解しる。 3 各体の運動を記する。 4 までの学習内について理解しる。	はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいには、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが大切では、 はいことが、 はいことがは、 はいことが、 はいことが大切できる。 はいことが、 はいこ		
授業の □ アク 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	は400点位の は440点で 40点で 40点で 40点で 50点で 50点で 50点で 50点で 50点で 50点で 50点で 5	である。 を得条件〉学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲〉中学 ト等シ演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  「ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験 カの表し方、いろいろな力 カの合成と分解、カのつり合い 作用と反作用 圧力と浮力	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授美 て理解を確実にするとよった いてみる力を養うように 」 遠隔授業対応 3. カ 上記: 4. 落 上記: 5. 力 上記:	である。なお再記で付けた上で的では、 をが終わったらい、物理は、、 での到達目標の基度に関する。 を取りでででででは、 なが終わったらい。 をの到達目標のは、 ながある。本 をののででででは、 ない、物理は、、 をののででででは、 ない、物理は、、 をののででででは、 ない、のででは、 ない、のででは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、	はいては、 関連した問題を解ける。   は知識を有している。   は知識を有している。   は知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を解している。   ないて理解し、関連した問題を解ける。   ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな		
授業の □ アク 授業計	ディブラー: 一 画	は400点位の は400点で 10点位の 10点位の 10点位の 10点週 10点週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10週 10	である.	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように 遺ご。 1.3 2.3 上記: 4. 落 上記: 5. 力 上記: 6. 様	である。なお再記で付けた上で的では、 をが終わったらい、物理は、、 での到達目標の基度に関する。 を取りでででででは、 なが終わったらい。 をの到達目標のは、 ながある。本 をののででででは、 ない、物理は、、 をののででででは、 ない、物理は、、 をののででででは、 ない、のででは、 ない、のででは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ない、のでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、	はいては、関連した問題を解ける。  は知識を有している。		
授業の □ アク 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	は60点位( くくくくるあ皿 の区) 上グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	である.  多得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 類集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である.  」  ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験 力の表し方、いろいろな力 力の合成と分解、力のつり合い 作用と反作用 圧力と浮力  慣性の法則、運動の法則、運動の三法	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように	である。なお再記で付けた上で的では、からい、物理は、でいいでである。 オール でいて 要素を でいる では、 できないでは、 できないできないでは、 できないでは、 できないできないできないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 で	はいては、 関連した問題を解ける。   は知識を有している。   は知識を有している。   は知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を解している。   ないて理解し、関連した問題を解ける。   ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな		
授業の □ アク 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	は606は   1   1   1   1   1   1   1   1   1	である。 を得条件〉学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲〉中学 ト等シ演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  「ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験 カの表し方、いろいろな力 カの合成と分解、カのつり合い 作用と反作用 圧力と浮力	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとさいてみる力を養うように 過ご 1. 3 上記: 4. ※ 上記: 5. サ 上記: 5. サ 上記: 1. % 上記: 5. サ 上記: 5. サ 上記:	である。なお再記で付けた上で的では、 さい、物理は、、 での到達目標の基度に関する。 をの連動を記せる。 を関する。 を関する。 を理解しる。 を理解しる。 を理解しる。 をでの学習内について理解しる。 をなか力について理解しる。 をなかかについて理解しる。 をなかかについて理解しる。	は験を経て得る各試験の評価の最大作品とと、 ら、自宅で、教科書の内容を復習す自分で考え理解することが大切で、科目は後に学習する「物理Ⅱ・ □ 実務経験のある教員による授業な知識を有している。 計算ができる。 □ 関連した問題を解ける。 □ ご述できる。 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
授業の □ アク 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	は604   は704   は704	である.  を得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  「ICT 利用  授業内容 授業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験 力の表し方、いろいろな力 力の合成と分解、力のつり合い 作用と反作用 圧力と浮力 慣性の法則、運動の法則、運動の三法 単位と次元、運動方程式の応用その1	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとる いてみる力を養うように	である。なお再記で付けた上で的では、 さい、物理は、、 での到達目標の基度に関する。 をの連動を記せる。 を関する。 を関する。 を理解しる。 を理解しる。 を理解しる。 をでの学習内について理解しる。 をなか力について理解しる。 をなかかについて理解しる。 をなかかについて理解しる。	はいては、 関連した問題を解ける。   は知識を有している。   はいて理解している。   はいて理解し、関連した問題を解ける。   はいて理解し、関連した問題を解ける。		
授業の □ アク 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	は604   は704   は704	である。 を得条件〉学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲〉中学 ト等シ演習課題を課す。 > 勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 夏集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授美 て理解を確実にするとように 」 遠隔授業対応 」 2. デ 上記: 4. 落 上記: 5. ガ 上記: 6. 様 ほ別、重さと質量 る. 追 記:	である。 なお再記 では	はいては、 関連した問題を解ける。   は知識を有している。   はいて理解している。   はいて理解し、関連した問題を解ける。   はいて理解し、関連した問題を解ける。		
授業の □ アク 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	体(4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (4)   (	である。 を得条件>学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲>中学 ト等>演習課題を課す。 >勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 題集の習った範囲の例題,問題等を解い すぐ答えを見ないで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。  「ICT 利用  「ICT 利用  「関業内容の説明,物理で使う数値 速さ,速度,等速直線運動 速度の合成、相対速度、ベクトル 加速度,等加速度直線運動 加速度が負の運動 落体の運動(自由落下) 落体の運動(自由落下) 落体の運動(鉛直投射) 前期中間試験 カの表し方、いろいろな力 カの合成と分解、カのつり合い 作用と反作用 圧力と浮力 「関性の法則、運動の法則、運動の三法 単位と次元、運動方程式の応用その1 運動方程式の応用その2  摩擦力(水平方向)	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授美 にである力を養うように は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	である。 なお再記 では	はいては、 関連した問題を解ける。   は知識を有している。   は知識を有している。   は知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を解している。   ないて理解し、関連した問題を解ける。   ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな		
授業の □ アク 授業計	ティブラー: 画 1stQ 2ndQ	は604   は604	である。 を得条件〉学業成績で60点以上を取得す かじめ要求される基礎知識の範囲〉中学 ト等シ演習課題を課す。 > 勉強の仕方:基本的に,教科書に従っ 顕集の習った範囲の例題,問題等を解い するえたとはいで,自分の力で考え解 の基礎となる科目である。	であること。 数学の知識は十分に身に て授業は行われる。授美 にするともいてみる力を養うように 過ご。 1. ・	である。 なお再記 は	はいては、 関連した問題を解ける。   は知識を有している。   はいて理解している。   はいて理解し、関連した問題を解ける。   はいて理解し、関連した問題を解ける。		
授業のフクリングを対し、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	Manual Control Con	である.	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 で理解を確実にするとさいてみる力を養うように 過ご。 1. 3 上記: 4. 3 上記: 4. 3 上記: 5. 力 上記: 5. 力 上記: 上記: 上記: 上記: 上記: 上記: 上記: 上記:	である。なお再記で付けた上で的ない。 さい、かけた上でいきない。 さい、かける。 さい、かける。 との到達目標のでは、は、 数値の基礎的では、できる。 をは、での学習中がででででででででででいて理解である。 は、でのがでででででででででででででででででいてででででででででででででででである。 をある。 は、たい、からいででは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは、からいでは	はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいことが大切では、はいます。 はいまのある教員による授業な知識を有している・ はいますができる・ はいますができる・ ないできる・ ないできる・ ないて理解している・ ない、記述できる・ ないて理解し、には、記述できる・ はいますができる・ はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいまが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいまが、はいますが、はいますが、はいますが、はいますが、はいまが、はいますが、はいまが、はいまが、はいまが、はいまが、はいまが、はいまが、はいまが、はいま		
授業の	ティブラー: 画 1stQ 2ndQ	修   1   1   1   1   1   1   1   1   1	である. * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 て理解を確実にするとさいてみる力を養うように 過ご 1. 3 上記: 4. 2. 3 上記: 5. 力 上記: 5. 力 上記: 上記: 上記: 上記:	である。 なお再記 では はい かい できない できない できない できない できない できない できない できな	はいては、 関連した問題を解ける。   は知識を有している。   は知識を有している。   は知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は算ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   は対対ができる。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を有している。   な知識を解ける。   な知識を解ける。   な知識を解している。   ないて理解し、関連した問題を解ける。   ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな		
授業のフクリスを対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	ティブラー: 画 1stQ 2ndQ	Manual Control Con	である.	ること. 数学の知識は十分に身に て授業は行われる. 授業 で理解を確実にするとさいてみる力を養うように 過ご。 1. 3 上記: 4. 3 上記: 4. 3 上記: 5. 力 上記: 5. 力 上記: 上記: 上記: 上記: 上記: 上記: 上記: 上記:	では、 さい、 さい、 さい、 さい、 でい、 さい、 でい、 でい、 でい、 でい、 でい、 でい、 でい、 で	はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいこと・ はいことが大切では、はいます。 はいま務経験のある教員による授業な知識を有している・ はいますができる・ はいますができる・ ないできる・ ないて理解している・ ない、記述できる・ はい、記述できる・ はい、記述できる・ はい、記述できる・ はい、理解し、関連した問題を解ける・ はい、理解し、関連した問題を解ける・ はいます。		

		7週		力学的	カエネルギー	 -保存の法則その 1		9. 力学的	Lネルギー保存の	法則を理解し	, , 関連した問
						MI ONDER COST		題を解ける		7/	71
		8週			中間試験	// たの注則えのこ			てからの学習内容	らい (埋)	¥している
		9週 10i		保存力	カと力学的エ	-保存の法則その 2 エネルギーの保存、セ	保存力以外の力力	<u>上記9</u> プレ記9			
		11ì		仕事を熱と温	をする場合 <u></u> 温度				  度を理解し,関連	 車した問題を	 解ける.
_	łthQ	12ì		熱量				上記10	,		
	iciiQ	13ì	围	熱の和	—————————————————————————————————————			上記10			
		14ì	围	気体の	の法則と状態	方程式		11. 気体の	様々な状態変化に	こ関連した問	題を解ける.
		15ì	围	気体の	の状態変化と	:熱・仕事		上記11			
		16ì	围								
モデルコ	アカリ=	キユ:	ラムの	学習	内容と到達	主目標					_
分類	1		分野		学習内容	学習内容の到達目	1標			到達レベル	授業週
						速度と加速度の概				3	
						平均の速度、平均の				3	
						直線及び平面運動 合成・分解及び村	かにおいて、速度 目対速度に関する	をベクトルとし 計算ができる。	ノて捉え、速度の 	3	
						等加速度直線運動する計算ができる		、物体の変位、	時間、速度に関	3	
						平面内を移動するとができる。		ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	変化として扱うこ	3	
						物体の変位、速度る。	度、加速度を微分	・積分を用いて	て相互に計算でき	3	
						自由落下及び鉛値ができる。	直投射した物体の	)変位、速度、時	詩間に関する計算	3	
						水平投射及び斜方ができる。	5投射した物体の	)変位、速度、時	詩間に関する計算	3	
										3	
					物体に作用する力を図示できる。 力の合成と分解ができる。				3		
					質点にはたらく力のつりあいに関する計算ができる。			きる。	3		
			重力、弾性力、抗力、張力の概念を理解し、それぞれの力に関			こぞれの力に関す	3				
						る計算ができる。 圧力、浮力について説明できる。					
						注力、浮力につい 運動の三法則に1		•		3	
						運動の三法則に - 運動方程式を用い		-	 *にはたらく力な	-	
						どを求めることが静止摩擦力がはた		この力のつりあし	いについて説明で	-	
基礎的能力	自然科学	学	物理		物理	きる。 最大摩擦力に関す				3	
						動摩擦力に関する		) •		3	
						仕事と仕事率に関				3	
						物体の運動エネル				3	
						重力による位置コ			 3.	3	
						弾性力による位置	<u> </u>	する計算ができ	<b>きる。</b>	3	
						力学的エネルギー	保存の法則につ	いて説明でき、	その法則を用い	3	
						て、物体の速度や				3	+
						原子や分子の熱道時間の推移ととも					+
						を説明できる。	フィン・ ボベンパグ重角で	- いってポードル	WILE POLC	3	
						物体の熱容量とは				3	1
						熱量保存の法則を		量、比熱及び熱平	P衡後の物体の温	3	
						度を求めることが	レの法則や理想気		式を用いて、気体	3	
						の圧力、温度、体理想気体における	る分子の運動エネ				
						について説明でき 熱力学第一法則を	<b>E</b> 用いて、気体の	状態変化(定称	責変化、定圧変化	ļ	
							多くの形態があり		ごきることを具体	ļ	
								ŧıギ▽≅∺□□▽▽÷¨	7	ļ	1
									٥.		+
京価割合	<u> </u>				I	熱機関の熱効率に	_   9 る計算かく	<b>ごさる。</b>		3	1
计侧刮石	4-≘	酥金		=⊞1	 早百	相方歌傳	能度	☆圭	マの曲	△≡	+
総合証価割る											
							+-				
<b>評価割合</b> 総合評価割合 配点	試 含 80	)		課 20 20	)	エネルギーには 例を挙げて説明で 不可逆変化につい 熱機関の熱効率に 相互評価 0	ごきる。 Nて、具体例を挙	がて説明できる		3 3 3 100 100	)

ᅥᅼᆓᇻ	礎情報								
科目番号		0002		科目区分	専門 / 必修				
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:				
開設学科		電子情幸		対象学年	1				
開設期		後期		週時間数	2 日間類集・「基礎電気回路ノート」 小関修				
教科書/教	<b>教材</b>	真一(電 参考書:	: 「入門電気回路(基礎編)」家村道雄 電気書院) : 「例題で学ぶやさしい電気回路 直流 川工業新聞社)など	•					
担当教員		森 育子							
到達目	標								
電気回路	の基本とな	る法則とその	D基礎となる数学を理解し,直流回路の	基本問題を解くことが	できる.				
ルーブ!	リック								
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	目安	未到達レベルの目安			
評価項目	1		電気回路の基本となる法則に関する応用問題を解くことができる.	電気回路の基本となる る基本問題を解くこと	法則に関す ができる.	電気回路の基本となる法則に関る基本問題を解くことができな(			
評価項目:	2		直流回路に関する応用問題を解くことができる.	直流回路に関する基本ことができる.	問題を解く	直流回路に関する基本問題を解 ことができない.			
学科の発	到達目標」	項目との関	<b>月</b> 係						
教育方法	 法等								
既要		算力を身	B工学科の電気電子系専門科目を学ぶた 分流, 分圧など)及び電気電子系分野 引につけ, 回路素子の基本的な働きにつ	いて理解をする	国路の基礎とた 数,三角関数,	ぶる直流回路(電位,電位差,電流 複素数など)を学ぶ.基本的な記			
授業の進	め方・方法	全ての	P容は,学習・教育到達目標の <b>(専 †画」における各週の「到達目標」は,</b>	門) に関連する. <i>この</i> 授業で習得する「9	識・能力」(	こ相当するものとする.			
		くしボ-	- 卜等>			ことが望ましい.			
注意点		受ける とり	- ト等 > こ深めるため,レポートなどの課題を課 対績の評価方法および評価基準 > 引・学年末試験の試験2回の成績の合計を - がある。 8得要件 > 対績で60点以上を取得すること。	す. を70%, レポートなどの ってくること. 題演習を行う. 計算は、 学 南子口学 南子のほ	D課題の成績の 公ず自分の手で	D合計を30%で評価する。再試験: で確認すること。本教科は,後に 「回路、雷子機器学・制御工学など			
	電性・履	を がいます できます できます できます できます できます できます できます でき	- ト等> こ深めるため、レポートなどの課題を課 な績の評価方法および評価基準> 間・学年末試験の試験2回の成績の合計を とがある。 多得要件> な績で60点以上を取得すること。 込ずノートを取ること、宿題は必ずやつ 講義に必要な数学を身につけるために問 意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気: 電子通信系科目すべての基礎となるもの 引き続き使用する場合がある。(質問に	す. を70%, レポートなどの ってくること. 題演習を行う. 計算は、 学 南子口学 南子のほ	D課題の成績の 公ず自分の手で	D合計を30%で評価する. 再試験でで確認すること. 本教科は, 後に気が 原子機器学 制御工学など			
授業の原		を 理学期う単学備業門す電で) とでである。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とのるのではいるできます。 とのではいるできます。 とのではいるできます。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをな	- ト等> 上深めるため,レポートなどの課題を課 な績の評価方法および評価基準> 引・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある. 多得要件> な績で60点以上を取得すること. とがずノートを取ること.宿題は必ずやっ 講義に必要な数学を身につけるために問 意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気に 電子通信系科目すべての基礎となるもの 引き続き使用する場合がある.(質問に	す. を70%, レポートなどの でくること. 題演習を行う. 計算は 学, 電子工学, 電子回訳 である. なお, 併用問 来る際には, 必ず自筆の	D課題の成績の 公ず自分の手で	D合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後に等し回路,電子機器学,制御工学などの電気電子基礎II,3年次の電気に対したノートを持参すること			
受業の原	属性・履作 ティブラー:	を 理学期う単学備業門す電で) とでである。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とのるのではいるできます。 とのではいるできます。 とのではいるできます。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをな	- ト等> こ深めるため、レポートなどの課題を課 な績の評価方法および評価基準> 間・学年末試験の試験2回の成績の合計を とがある。 多得要件> な績で60点以上を取得すること。 込ずノートを取ること、宿題は必ずやつ 講義に必要な数学を身につけるために問 意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気: 電子通信系科目すべての基礎となるもの 引き続き使用する場合がある。(質問に	す. を70%, レポートなどの ってくること. 題演習を行う. 計算は、 学 南子口学 南子のほ	D課題の成績の 公ず自分の手で	D合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後に等し回路,電子機器学,制御工学などの電気電子基礎II,3年次の電気に対したノートを持参すること			
受業の原 〕 アクラ	ティブラーニ	を 理学期う単学備業門す電で) とでである。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とのるのではいるできます。 とのではいるできます。 とのではいるできます。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをな	- ト等> 上深めるため,レポートなどの課題を課 な績の評価方法および評価基準> 引・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある. 多得要件> な績で60点以上を取得すること. とがずノートを取ること.宿題は必ずやっ 講義に必要な数学を身につけるために問 意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気に 電子通信系科目すべての基礎となるもの 引き続き使用する場合がある.(質問に	す. を70%, レポートなどの でくること. 題演習を行う. 計算は 学, 電子工学, 電子回訳 である. なお, 併用問 来る際には, 必ず自筆の	D課題の成績の 公ず自分の手で	D合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後に等し回路,電子機器学,制御工学などの電気電子基礎II,3年次の電気に対したノートを持参すること			
受業の原 〕 アクラ	ティブラーニ	を 理学期う単学備業門す電で) とでである。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とではいるできます。 とのるのではいるできます。 とのではいるできます。 とのではいるできます。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまする。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできまなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのできなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。 とのでをなる。	- ト等> 上深めるため,レポートなどの課題を課 な績の評価方法および評価基準> 引・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある. 多得要件> な績で60点以上を取得すること. とがずノートを取ること.宿題は必ずやっ 講義に必要な数学を身につけるために問 意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気に 電子通信系科目すべての基礎となるもの 引き続き使用する場合がある.(質問に	す. を70%, レポートなどの でくること. 題演習を行う. 計算は である. なお, 併用問来る際には, 必ず自筆の 遠隔授業対応	D課題の成績の 公ず自分の手で	○合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後に学し回路,電子機器学,制御工学なりで電気電子基礎II,3年次の電気にや勉強したノートを持参することで、実務経験のある教員による技			
受 <b>業</b> の原 〕 アクラ	ティブラーニ	く後行く   く授門す電で)   上グ   上グ	- ト等〉  - 大等〉  - 大等〉  - 大等〉  - 大学〉  - 大学〉  - 大学(大学)  - 大学(大学)  - 大学)  - 大学  -	す. 〒70%, レポートなどの でくること. 題演習を行う. 計算は である. なお, 併用問! 来る際には, 必ず自筆の 遠隔授業対応 週ご	D課題の成績の がず自分の手で を を がず自分の手で を がす がで がで がで がで がで がで がで がで がで がで	○合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後に学し回路,電子機器学,制御工学などの電気電子基礎II,3年次の電気にや勉強したノートを持参することで、実務経験のある教員による技			
受業の原 〕 アクラ	ティブラーニ	マライ   である   であ	- ト等>  - 大等>  - 大等>  - 大学>  - 大学 るため,レポートなどの課題を課  - 技績の評価方法および評価基準>  - がある.  - 多得要件>  - 技績で60点以上を取得すること.  - 必ずノートを取ること. 宿題は必ずやっ  - 講義に必要な数学を身につけるために問  - 京電子基礎II,電気回路論,電気磁気・  - 電子連信系科目すべての基礎となるもの  - はき続き使用する場合がある. (質問に  - サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	す.  〒70%, レポートなどの  「ですること.  「題演習を行う. 計算ははである. なお, 併用問題を表してある. なお, 供用問題を表る際には, 必ず自筆の  「遠隔授業対応」  「「遠隔授業対応」  「1. 記します。」  「2. 正	の課題の成績の 公ず自分の手で 3人では2年次の 1度業ノートで ででででは、 ででででできます。 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回りでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じでは、 1回じで	○合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後には 一回路,電子機器学,制御工学気度の電気電子基礎II,3年次の電気に や勉強したノートを持参すること □ 実務経験のある教員による技 歴史と単位について理解している.  刊接続された複数の抵抗素子からた			
授業の原 〕 アクラ	ティブラーニ	マ(後行く) く授専習 (論) 上グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	- ト等> 正深めるため,レポートなどの課題を課 就績の評価方法および評価基準> 別・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある. を得要件> なるで60点以上を取得すること. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	す. を70%, レポートなどの のてくること. 題演習を行う. 計算は必 である. なお, 併用問い 来る際には, 必ず自筆の は、必ず自筆の 1. 配 2. 配 2. 配 3. =	の課題の成績の がず自分の手で をがディンジタル 重集は2年次の での到達目標 電気に関する歴 での会成抵抗が	で確認すること、本教科は、後にも で確認すること、本教科は、後にも と回路、電子機器学、制御工学など の電気電子基礎II、3年次の電気に も勉強したノートを持参すること □ 実務経験のある教員によるが 歴史と単位について理解している。 副接続された複数の抵抗素子からが 計算できる。			
授業の原	ティブラーニ	を	- ト等> 正深めるため,レポートなどの課題を課 就績の評価方法および評価基準> 別・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある。 多様で60点以上を取得すること。 のはずノートを取ること。宿題は必ずやつけるために問 講気電子基礎II,電気の路論。電気を 30子通信系科目すべての基礎となるもの はき続き使用する場合がある。(質問に 対策内容 電気電子基礎序論 オームの法則と抵抗の直並列接続 キルヒホッフの法則 分流と分圧	す.  〒70%, レポートなどの  「ですること・ のですること・ のですること・ のですること・ のですること・ のである・ のである・ なお、併用問題・ 来る際には、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、・ のいること・ は、・ のいること・ は、・ のいること・ は、・ のいること・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D課題の成績の 公ず自分の手で 会ず自分の手で 会ができるが 変に関するが を変に関するが を変に関するが を変がながいます。 ができる。 分ができる。 分ができる。	○合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後には 一回路,電子機器学,制御工学ならいでででででででででででででででである。 一 実務経験のある教員による技 で定と単位について理解している. 別接続された複数の抵抗素子からな 計算できる. の法則を理解し,閉路方程式をたってでででででででででです。			
受業の原 〕 アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	Yellow   Windows   Win	- ト等>  - 定深めるため,レポートなどの課題を課  対績の評価方法および評価基準>  切・学年末試験の試験2回の成績の合計で  がある.  多得要件>  技績で60点以上を取得すること.  ・ 必ずノートを取ること. 宿題は必ずやつ  構義に必要な数学を身につけるために問  意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気で  三子通信系科目すべての基礎となるもの  にき続き使用する場合がある.(質問に  サー  「ICT 利用  「授業内容 電気電子基礎序論  オームの法則と抵抗の直並列接続  キルヒホッフの法則  分流と分圧 電圧源と電流源	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・ 題演習を行う・計算はは デ、電子工学が、併用問題である。なお、併用問題である。なが、必ず自筆の 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「	の課題の成績の がず自分の手で 別集は2年入り 別集業ノートな の到達目 標 別の会成抵抗が ドルヒホッフの ができる。 ができる。 が、分圧になる。 が、分圧になる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	で確認すること、本教科は、後に登り回路、電子機器学、制御工学などの電気電子基礎II、3年次の電気回か勉強したノートを持参することで表現したノートを持参することで表現したカートを持続された複数の抵抗素子からな計算できる。  D法則を理解し、閉路方程式をたるのいて理解している。  のについて理解し、計算することができる。			
受業の原 〕 アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	を	- ト等> 正深めるため,レポートなどの課題を課 就績の評価方法および評価基準> 別・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある。 多様で60点以上を取得すること。 のはずノートを取ること。宿題は必ずやつけるために問 講気電子基礎II,電気の路論。電気を 30子通信系科目すべての基礎となるもの はき続き使用する場合がある。(質問に 対策内容 電気電子基礎序論 オームの法則と抵抗の直並列接続 キルヒホッフの法則 分流と分圧	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の課題の成績の がず自分の写り次の のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは のので のので	で確認すること、本教科は、後に登り回路、電子機器学、制御工学などの電気電子基礎II、3年次の電気区を勉強したノートを持参することを対したノートを持参することを対したノートを持参することを対したと関係である。  「実務経験のある教員による技術できる。」  「対接続された複数の抵抗素子からないできる。」  「対接続された複数の抵抗素子からないです。」  「対策について理解している。」  「対策について理解している。」  「対策続について理解している。」			
受業の原 □ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	Yellow   Windows   Win	- ト等>  - 定深めるため,レポートなどの課題を課  対績の評価方法および評価基準>  切・学年末試験の試験2回の成績の合計で  がある.  多得要件>  技績で60点以上を取得すること.  ・ 必ずノートを取ること. 宿題は必ずやつ  構義に必要な数学を身につけるために問  意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気で  三子通信系科目すべての基礎となるもの  にき続き使用する場合がある.(質問に  サー  「ICT 利用  「授業内容 電気電子基礎序論  オームの法則と抵抗の直並列接続  キルヒホッフの法則  分流と分圧 電圧源と電流源	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の課題の成績の がず自分の写り次の のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では のの子では ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは のので のので	で確認すること、本教科は、後に登り回路、電子機器学、制御工学などの電気電子基礎II、3年次の電気区を勉強したノートを持参することを対したノートを持参することを対したノートを持参することを対したと関係である。  「実務経験のある教員による技術できる。」  「対接続された複数の抵抗素子からないできる。」  「対接続された複数の抵抗素子からないです。」  「対策について理解している。」  「対策について理解している。」  「対策続について理解している。」			
受業の原 □ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	C   Windows	- ト等> 上で深めるため,レポートなどの課題を課 対議の評価方法および評価基準> 別・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある. を得要件> 技術で60点以上を取得すること. を得要件> 大統領で60点以上を取得すること. 必ずノートを取ること.宿題は必ずやつけるに必要な数学を身につけるために問 電子基礎II,電気の基礎となる。 はき続き使用する場合がある.(質問に	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・ 題演習を行う・計算はは でする。 である。 「は, 必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、。 「は, 必ず自筆の は、。 「は, 必ず自筆の は、。 「は, 必ず自筆の は、。 「は, 必ず自筆の は、。 「は, と、。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「の路 ここ。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「の。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「のる。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の。 「の	の課題の成績の がず自分の手ができる別 を変えてはメノートな の到達目する別 の別接続がいたできるのでは、 ができるができないできるができたができるができた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で確認すること、本教科は、後に禁 で確認すること、本教科は、後に禁 との電気電子機器学、制御工学など の電気電子基礎II、3年次の電気区 や勉強したノートを持参すること ② 実務経験のある教員による技 型 実務経験のある教員による技 ご 実務経験のある教員による技 できる。 ② 法則を理解し、閉路方程式をたる ② ないて理解している。 ② はいて理解している。 ② はいて理解している。 ② はいて理解している。			
受業の原 □ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	Variable   Variabl	- ト等> 正深めるため,レポートなどの課題を課 就績の評価方法および評価基準> 別・学年末試験の試験2回の成績の合計を がある. 多得要件> なる。 とがずノートを取ること. 宿題は必ずやつ 講義に必要な数学を身につけるために問 意気電子基礎II,電気回路論,電気磁気を 記子通信系科目すべての基礎となるもの 同き続き使用する場合がある. (質問に	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・記録選を行う・記録選を行う・電子で表。 で来る際には、必ず自筆の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、必ず自事の 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。」 「は、の。。」 「は、の。。」 「は、の。。」 「は、の。。」 「は、の。。」 「は、の。。」 「は、の。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	の課題の成績の なず自分の手で 別では2年トヤー を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言	で確認すること. 本教科は,後に気力で確認すること. 本教科は,後に気力で、大切的で、大力でで、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大力で、大			
授業の原 □ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	Variation of the control of the	- ト等>	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・ のですること・ 関演習を行う・電子回りである。なお、併用問題である。なお、必ず自筆のである。 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、必ず自筆のである。」 「は、のでする。」 「は、のでする。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「おいている。」 「は、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるで	の課題の成績の なず自分の手で 別では2年トヤー を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を配置を表す。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を記述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言述を表する。 を言	で確認すること、本教科は、後に禁心回路、電子機器学、制御工学などの電気電子基礎II、3年次の電気回動強したノートを持参すること 実務経験のある教員による哲学を含めたとして理解している。 対けできる。 かいて理解し、計算することができる。 かいて理解し、計算することができる。 かいて理解している。 立列接続について理解している。 こついて理解している。 世列接続について理解している。 こついて理解している。 世別接続について理解している。 これで理解している。 これで 理解している。 これを言います はいまればいます はいまればいまればいます はいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいまればいます はいまればいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまから こればいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいまから こればいまればいまからないます はいまればいます はいまればいます はいまればいまればいます はいまればいます はいまればいまからないます はいまればいます はいまればいます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまからないます はいまからないます はいまからないまからないます はいまからないます はいまからないます はいまからないまからないます はいまからないまからないまからないます はいまからないます はいまからないまからないまからないまからないまからないまからないまからないまからな			
授業の原 □ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	Variation of the control of the	- ト等 > - た深めるため,レポートなどの課題を課 対議の評価方法および評価基準 > - がある. を得要件 > - がある. を得要件 > - がある. を得要件 > - がずノートを取ること. 宿題は必ずやつけるに必要な数学を身につけるために問 意気電子基礎II,電気の基礎となるもの。 - では、一、では、一、では、一、では、一、では、一、では、一、では、一、では、一	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・ ですること・ ですること・ であること・ には、必ず自筆の である際には、必ず自筆の である際には、必ず自筆の 「回路 「日路 「日路 「日路 「日路 「日路 「日路 「日路 「日	の課題の成績の 公ず自分の手では2年ートで 自分が2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで に2年ーで では2年ーで に2年ーで では2年ーで では2年ーで に2年ーで に2年ーで に2年	で確認すること、本教科は、後に禁心回路、電子機器学、制御工学などの電気電子基礎II、3年次の電気回動強したノートを持参すること 実務経験のある教員による哲学を含めたとして理解している。 対けできる。 かいて理解し、計算することができる。 かいて理解し、計算することができる。 かいて理解している。 立列接続について理解している。 こついて理解している。 世列接続について理解している。 こついて理解している。 世別接続について理解している。 これで理解している。 これで 理解している。 これを言います はいまればいます はいまればいまればいます はいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいまればいます はいまればいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまから こればいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいます はいまればいまればいまから こればいまればいまからないます はいまればいます はいまればいます はいまればいまればいます はいまればいます はいまればいまからないます はいまればいます はいまればいます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまればいまからないます はいまからないます はいまからないます はいまからないまからないます はいまからないます はいまからないます はいまからないまからないます はいまからないまからないまからないます はいまからないます はいまからないまからないまからないまからないまからないまからないまからないまからな			
授業の原	声ィブラー <u>:</u> 画 3rdQ	V	- ト等> 上で深めるため、レポートなどの課題を課 就績の評価方法および評価基準> 別・学年末試験の試験2回の成績の合計 がある。 を得要件> 交債で60点以上を取得すること。 を得要は2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000では、2000で	す. を70%、レポートなどの た70%、レポートなどの のてくること. 題演習を行う. 計算はよ 学である、はれ、必ず自筆の である際には、必ず自筆の 温ご 1. 配 2. 面路 3. と 4. タ 5. 配 6. 配 第75 7. 3 第95 8. 者	の課題の成績の 公ず自分の手では2年ートで 自分が2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ートで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで では2年ーで に2年ーで では2年ーで に2年ーで では2年ーで では2年ーで に2年ーで に2年ーで に2年	で確認すること、本教科は、後には、 にで確認すること、本教科は、後には、 にでは、電子機器学、制御工学などのででででである。 でを持参すること  「実務経験のある教員による技術である。」  「実務経験のある教員による技術できる。」  「実務経験のある教員による技術できる。」  「対象について理解している。」  「は対象について理解している。」  「は対象にないできる。」  「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない			
授業の原	ティブラー <u>:</u> 画	V	- ト等> 上 深めるため,レポートなどの課題を課 就績の評価方法および評価基準> 別・学年末試験の試験2回の成績の合計 がある. を得要件> 、	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・一 のですること・一 のですること・一 のですること・一 のですること・一 であること・一 である。はのでするでは、必ず自筆のである。 「は、必ず自筆のでするである。」 「は、必ず自筆のでする。」 「は、必ず自筆のでする。」 「は、必ず自筆のでする。」 「は、必ず自筆のでする。」 「は、必ず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自筆のでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なず自ずのでする。」 「は、なずしななななななななななななななななななななななななななななななななななな	の課題の成績の がず自分が年かれる。 を変えません。 ではとののはには、 のののののでは、 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で確認すること、本教科は、後には、 にで確認すること、本教科は、後には、 にでは、電子機器学、制御工学などのででででである。 でを持参すること  「実務経験のある教員による技術である。」  「実務経験のある教員による技術できる。」  「実務経験のある教員による技術できる。」  「対象について理解している。」  「は対象について理解している。」  「は対象にないできる。」  「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない			
授業の原	声ィブラー <u>:</u> 画 3rdQ	Particular of the content of the	- ト等> 正深めるため,レポートなどの課題を課 就績の評価方法および評価基準> 弱・学年末試験の試験2回の成績の合計 がある. を得要件> な横で 6 0 点以上を取得すること. を得要で 6 0 点以上を取得すること. はずノートを取ること.宿題は必ずやつ 講義に子基礎II,電気の路・電気を力 調子通信系科目すべての基礎となる質問に を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	す. 〒70%, レポートなどの 「ですること・う。計算はは ですること・う。計算はは でするる際には、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、必ず自筆の は、と、な、。 を、。 を、。 を、。 を、。 を、。 を、。 を、。 を	シ課題の成績の なず自分のラチでは を変え、集は を変え、集は を変え、集は を変え、との の到達するが を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、	○合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後には			
受業の原 □ アクラ	声ィブラー <u>:</u> 画 3rdQ	Particular of the content of the	- ト等> - 上突めるため、レポートなどの課題を課 対議の評価方法および評価基準> ・ ジ稿で60点以上を取得すること・ を	また。 を70%、レポートなどの を70%、レポートなどの を70%、レポートなどの を70%、レポートなどの 題演習を行う、計算のは 学である。併用問題で来る際には、必ず自筆の 1. 記 2. 正 の路 3. こ 4. か 5. 記 第66 3. こ 第77 7. 三 第95 8. 礼 第11 第11	D課題の成績の が引集類の成績の が引集がます。 を配きないではます。 を配きないでは、 を配きないでは、 を配きないでは、 を配きないでは、 を配きないでは、 を配きないでは、 を配きないでは、 を配きないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 をこなないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 を記さないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこなないでは、 をこななないでは、 をこなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	○合計を30%で評価する. 再試験で確認すること. 本教科は,後には			

分類    分野		分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	. 授業週
専門的能力				電荷と電流、電圧、 とができる。	用いるこ	1	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後7		
	分野別の専 門工学	  電気・電子  系分野	電気回路	合成抵抗や分圧・分	汁流の考え方を用い	って、回路の計算が	できる。	2	後2,後4,後 6,後7
	门上子	未万到		キルヒホッフの法貝 電流、電力を計算で	の電圧や	2	後3,後6,後 7,後13,後 14,後15		
			計測	SI単位系における基	基本単位と組立単位	だついて説明でき	る。	2	後1
評価割合									
	試験		果題	相互評価	態度	発表	その他	合	†
総合評価割合	総合評価割合 70		0	0	0	0	0	10	0
配点	70	3	0	0	0	0	0	10	0

鈴鹿	工業高等	専門学校		開講年度	令和06年度 (2	.024年度)	授	業科目	工学基礎	実験		
科目基礎	計報											
科目番号		0014				科目区分		専門 / 必				
授業形態		実験・美	€習			単位の種別と単位	立数	履修単位				
開設学科		電子情報	3工学科	· 각		対象学年		1				
開設期		前期				週時間数		2				
教科書/教	材	「実験実	習安全	全必携」国立高	高等専門学校機構, 西	配布プリント						
担当教員		伊藤 明,	田添っ	丈博,平野 武範	,遠藤 健太							
到達目標	Ę											
2. 実験・	実習内容を	科の到達目 注理解し, 約	標, 特まま	特徴などを理解 考察など各学科	し,工学における興 4で要求された内容 [。]	興味関心を高める. を報告書にまとめ	ること	ができる.				
ルーブリ	リック											
			_	想的な到達レ		標準的な到達レ/				ベルの目安		
評価項目1			実 分 実	験・実習に関う に理解し,安全 習を確実に行	する基礎知識を十 全に配慮し実験・ うことができる.	実験・実習に関す  解し,安全に配属  行うことができる	煮し実験	楚知識を理 食・実習を	実験・実 解が足り 行うこと	習に関する基 ず,実験・実 ができない.	礎知識の理 習を確実に 	
評価項目2			'n	結果や考察なる	を十分に理解し ど各学科で要求さ 書にまとめること	実験・実習の内容 まえたうえで報告 とができる.	容およて 告書にま	が結果を踏 まとめるこ		習の内容およ とめ報告でき		
学科の到	達目標項	目との関	係									
教育方法	等											
概要		本科目(a	は本校∕ 対する	への導入教育の る興味・関心を	)位置づけで開講され と高めるとともに, 3	れており, 自身の 主体的・積極的に	所属学科 学問にI	科以外を理 取り組む姿	解するための 勢を身に付い	のガイダンス: けることを目!	も実施する 的とする.	
授業の進め	方・方法	・授業内・授業計	容は,   画に	学習・教育到記載のテーマに	達目標(B)<専門   こついて, クラス単位   の「到達目標」はで	> に対応する. 立で各学科の実験	・実習を	を行う. **・# カレ	に担当する	<b>ナ</b> のトオス		
											#概わ同じで	
注意点		ある. 清   <学業成   <単位修   <あらか	請点の€ 績の評 得要件 じめ要	50%の得点で, 平価方法および ‡>学業成績で	目標の達成を確認 評価基準>実験・実 60点以上を取得する 知識の範囲>1年生	する. 『習レポート(85』 3 <i>こと</i> .	点満点)	と発表(	15点満点)	の総和で評価	する.	
1-111		都度解認										
	<u>は・履修</u>						_				I-W	
□ アクテ	ィブラーニ	ンク	V	ICT 利用		│□ 遠隔授業対応	,		□ 実務総	怪験のある教員	<b>真による授業</b>	
+™₩≡+™												
授業計画	1	週	授業			I	油ブレ	の到達目標	<b>5</b>			
		1週		<u>76</u> 用説明, 安全調	集羽 (宝餘)					 本を理解して		
				•						エディタの基準		
		2週	PC利	用説明2, Mai	rkDown		きる.					
		3週	1	講習(廃液処理	里)		する基	礎的な注意	事項を把握			
	1stQ	4週		lworks (1)			4.3 DCADの基本的な使用			!用を理解している.		
		5週	Solid	lworks (2)			上記4		10 ++ 1 45 1		++ T** 6 a - *h - 4	
		6週	C++	+プログラミン	<b>ッ</b> グ(1)		5. C+ 習得す	·+言語によ る.	り基本的な	プログラムの	基礎知識を	
<u> →</u> ++-π		7週	C++		·グ(2)		上記5					
前期		8週	<定期	期試験期間>								
		9週	C++	+プログラミン	_′ グ(3)							
		10週	0週 C++プログラミ		ング(4)		上記5					
		11週	1	+プログラミン			上記5 6. Arduinoに関する基本的な知識と技術を習得する.					
	2ndQ	12週	1		計測制御の基礎 Ard			duinoに関	する基本的な	ぶ知識と技術を	を習得する.	
		13週	+		計測制御の基礎 Ard		上記6					
		14週			計測制御の基礎 Ard 計測制御の基礎 Ard							
		16週	٧٦.	コンで用いた	II 別制即の基礎 AIU	uiiio (4)	上品の					
エデルニ	  アカリキ		ノ学習	  内容と到達								
分類	17 73 24	分野	<i>/</i> 丁日	学習内容	- ロイボ 学習内容の到達目様	<u> </u>				到達レベル	授業週	
7578		7513		1 - 1 - 1 - 1	目的に応じて適切な 定器等の使用方法を	よ実験手法を選択し					1242	
基礎的能力	」 工学基礎	では、 工学実験技 工学実験 術 術		る。 実験テーマの目的を理解し、適切なら近似曲線を求めるなど、グラフや リカリンできる。 エ学実験技 術		手法に。 図、表を	より取得し を用いて分	たデータか かり易く効	3			
		-   何可   		1/NJ	必要に応じて適切なでき、定量的・論理 きる。	よ文献や資料を収集				3		
					個人あるいはチーム 験・実習を実施する		祭、自	らの役割を	認識して実	1		

		技術者倫理	型 技術者倫理	現代社会の特徴を理者の役割、責任にこ	けた技術	1						
				専門職としての技術	0	1						
				コンピュータの構成 理解し、基本的な耳	はとオペレーティングシステム(OS) <i>の</i> 双扱いができる。	)役割を	1					
		  情報リテラ	 	アナログ情報とデシデータ(数値、文字	2							
		シー	シー	基礎的なプログラム		3						
								計算機を用いて数学的な処理を行うことができる。			1	
				基礎的なアルゴリス 語を用いて記述でき	ミング言	2						
専門的能力	分野別の工 学実験・実 習能力	情報系分野 (実験・第 習能力)	所 情報系分野 (実験・実 習能力)	与えられた問題に対 を、標準的な開発が	けしてそれを解決するためのソースブ ノールや開発環境を利用して記述でき	゚ログラム る。	2					
評価割合				_								
		実験レポート 85			発表 合計							
総合評価割合	ì				15	100						
配点	85			15 100								

科目基		等専門学校	開講年度 令和06年度 (2	2024年度)   19	受業科目	プログラミング
	礎情報					
科目番号	<u>1</u>	0015		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	# T	授業		単位の種別と単位数	履修単位:	2
開設学科	4	電子情報	江学科	対象学年	1	
開設期		通年		週時間数	2	
教科書/教	<b>教材</b>	教科書 門編」 司(監訳) C++第3	: 「やさしいC++ 第5版」 高橋麻 柴田望洋著(ソフトバンククリエイテ , O'REILLY, 「Effective C++(第2版) 版」, Bjarne Stroustrup (著), 長尾 福	添著(ソフトバンクク! ィブ),「C++実践プロ 」, Scott Meyers (著), 弱仏(訳), アスキー	リエイティブ グラミング(寛 吉川 邦夫(訴	) 参考書: 「新版 明解C++ <i>入</i> 第2版), Steave Oulline(著), 望月康 引), アスキー, 「プログラミング言語
担当教員	į	田添 丈!	專,青山 俊弘			
ログラム	コグラミンク Aを作成する	ブの手順を習行 ことができる	导し、逐次処理・条件判断・繰り返しを な。	と用いたプログラミング†	ができ、関数	、クラスの基礎を理解し、簡単なプ
ルーブ	リック		田相位も7回去し ベル の日立	無洗的もついましかりの		ナがましがよる日立
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの		未到達レベルの目安
評価項目	1		実践的な処理手順(アルゴリズム)の構成を理解している	基本的な処理手順(ア)の構成を理解してい	る	実践的な処理手順(アルゴリズム))の構成を理解していない 各種制御文を用いて基本的なプロ
評価項目	2		各種制御文を用いて実践的なプログラムを書ける	各種制御文を用いて基 グラムを書ける		グラムを書けない
評価項目	3		関数を用いて実践的なプログラム を書ける	関数を用いて基本的な を書ける		関数を用いて基本的なプログラムを書けない
評価項目			ポインタ、参照を用いて実践的なプログラムを書ける	ポインタ,参照を用いプログラムを書ける		ポインタ、参照を用いて基本的なプログラムを書けない
評価項目	<b>1</b> 5		基本的なクラスを用いて実践的な プログラムを書ける	基本的なクラスを用いプログラムを書ける		基本的なクラスを用いて基本的なプログラムを書けない
評価項目		T	継承を用いて実践的なプログラム を書ける	継承を用いて基本的な を書ける	ノロクフム	継承を用いて基本的なプログラム  を書けない
		項目との関	]係			
教育方	法等					
概要		gitなどこ	では、プログラミングの基礎知識につ ]ンパイラ以外のツールの基本的な使い	方を理解する。	inuxで行い、	C++言語を用いる。また、makeや
授業の進	<b>並</b> め方・方法	授業は講	)内容は、学習・教育到達目標( B ) <専  義、演習、実習をバランス良く行う。  画」における各週の「到達目標」はこ	演習と実習は習熟度別に	「選択となる。 浅・能力」に木	目当するものとする
		ので、必	価する。達成度評価における各「知識 然的に重みが大きくなる。評価結果が 項>プログラミングの講義は、プログ	百点法で60点以上の場	合に目標の過	達成とする。
注意点		ロくのくな行くというが記事がある。な行くというでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	:習得することが目的である。処理手順 設計、データ構造とアルゴリズムの基 \じめ要求される基礎知識の範囲>プロ	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でなる教科である。 グラム演習の問題を理解 レポートを20%で評とがある。これについていていてのである。これについているとがある	さを理解して   するための数   価する。ただ   は60点を_   させるため、	るとともに、プログラムの基本的な てほしい。本教科は後に学習するプ 数学の基礎知識、教科書を読むため し中間試験について、60点に達し 上限として評価する。また、12月に 基本的に毎週、プログラミング作
	属性・履	口くのくな行くく成ることがあいます。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別計、データ構造とアルゴリズムの基別力。 対力。 績の評価方法および評価基準> して中間・期末の4回の試験を80%、にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを神りとックの成績を学業成績のにはそれをできまい。 得要件> 続で60点以上を取得すること。 ト等> 授業の理解を深めるため、プリート課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でなる教科である。 グラム演習の問題を理解 レポートを20%で評とがある。これについていていてのである。これについているとがある	さを理解して   するための数   価する。ただ   は60点を_   させるため、	るとともに、プログラムの基本的な てほしい。本教科は後に学習するプ 数学の基礎知識、教科書を読むため し中間試験について、60点に達し 上限として評価する。また、12月に 基本的に毎週、プログラミング作
授業の	属性・履 ティブラー:	ロくのく な行く く成る 上のお能成と含る他は、一次あ言学原いわ単学にの。 の 上のの の というがい というがい といっぱい というがい さいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょう	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別計、データ構造とアルゴリズムの基別力。 対力。 績の評価方法および評価基準> して中間・期末の4回の試験を80%、にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを神りとックの成績を学業成績のにはそれをできまい。 得要件> 減で60点以上を取得すること。 ト等> 授業の理解を深めるため、プリート課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でなる教科である。 グラム演習の問題を理解 レポートを20%で評とがある。これについていていてのである。これについているとがある	さを理解して   するための数   価する。ただ   は60点を_   させるため、	るとともに、プログラムの基本的な にはしい。本教科は後に学習するプ 数学の基礎知識、教科書を読むため とし中間試験について、60点に達し 上限として評価する。また、12月に 基本的に毎週、プログラミング作 の、GitHubのアカウントが必要であ
		ロくのく な行く く成る 上のお能成と含る他は、一次あ言学原いわ単学にの。 の 上のの の というがい というがい といっぱい というがい さいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょう	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別があまずれる基礎知識の範囲>プロがある。受けて、対して中間・期末の4回の試験を80%、にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを対して中の成績を学業成績の得要件>に積で60点以上を取得すること。ト等> 授業の理解を深めるため、プニト課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でとなる教科である。グラム演習の問題を理解した。 グラム演習の問題を理解した。これについていている。これについて評価に加えることがある。ログラム作成技術を向上をでのである。これについて記憶にからいては、これについて記憶に加えることがある。	さを理解して   するための数   価する。ただ   は60点を_   させるため、	るとともに、プログラムの基本的な てほしい。本教科は後に学習するプ 数学の基礎知識、教科書を読むため し中間試験について、60点に達し 上限として評価する。また、12月に 基本的に毎週、プログラミング作
授業の □ アク:	ティブラー	ロくのく な行く く成る 上のお能成と含る他は、一次あ言学原いわ単学にの。 の 上のの の というがい というがい といっぱい というがい さいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょう	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別があまずれる基礎知識の範囲>プロがある。受けて、対して中間・期末の4回の試験を80%、にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを対して中の成績を学業成績の得要件>に積で60点以上を取得すること。ト等> 授業の理解を深めるため、プニト課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でとなる教科である。グラム演習の問題を理解した。 グラム演習の問題を理解した。これについていている。これについて評価に加えることがある。ログラム作成技術を向上をでのである。これについて記憶にからいては、これについて記憶に加えることがある。	さを理解して   するための数   価する。ただ   は60点を_   させるため、	るとともに、プログラムの基本的な にはしい。本教科は後に学習するプ 数学の基礎知識、教科書を読むため とし中間試験について、60点に達し 上限として評価する。また、12月に 基本的に毎週、プログラミング作 の、GitHubのアカウントが必要であ
授業の □ アク:	ティブラー	ロくのく な行く く成る 上のお能成と含る他は、一次あ言学原いわ単学にの。 の 上のの の というがい というがい といっぱい というがい さいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょう	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別があまずれる基礎知識の範囲>プロがある。受けて、対して中間・期末の4回の試験を80%、にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを対して中の成績を学業成績の得要件>に積で60点以上を取得すること。ト等> 授業の理解を深めるため、プニト課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切である。グラム演習の問題を理解してポートを20%で評とがある。これについて評価に加えることがある。ログラム作成技術を向上にでのmを利用して課題提出 □ 遠隔授業対応	さを理解して   するための数   価する。ただ   は60点を_   させるため、	るとともに、プログラムの基本的なてほしい。本教科は後に学習するプログラムを登知識、教科書を読むためいて、60点に達し上限として評価する。また、12月に基本的に毎週、プログラミング作り、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、実務経験のある教員による授業
授業の □ アク:	ティブラー	ロくのく な行く   く成る   上グ    上グ    上グ    上グ    上グ    上グ    上グ	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基いける要求される基礎知識の範囲>プロけっ。 績の評価方法および評価基準>。して中間・期末の4回の試験を80%、にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補けとして中間・関末の4回の試験を行うこにはそれを対しての成績を学業成績の得要件>。 損要件>。 損で60点以上を取得すること。 ト等> 授業の理解を深めるため、プペート課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切である。 グラム演習の問題を理解  レポートを20%で評とがある。これについて 評価に加えることがある  ログラム作成技術を向上 まroomを利用して課題提  □ 遠隔授業対応  週ごで 1.0	ではいます。 はいまま はいまま はいまま はいまま かいまま はいまま はいまま はいまま	るとともに、プログラムの基本的なてほしい。本教科は後に学習するプ 数学の基礎知識、教科書を読むため とし中間試験について、60点に達し 上限として評価する。また、12月に 基本的に毎週、プログラミング作 の、GitHubのアカウントが必要であ
授業の □ アク:	ティブラー	ロ < の < な行 <	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別がある。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの単立力。 満の評価方法および評価基準>このではいませんではそれを補うための再試験を80%、にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこの情報オリンピックの成績を学業成績の得要件>に表すること。というでは、「大等>」授業の理解を深めるため、プニート課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切である。 がラム演習の問題を理解  レポートを20%で評していてでいる。これについてでではに加えることがある。  ログラム作成技術を向上ででのかがです。  「「「「「「「「「「「」」」では、「」「「」」では、「」「」である。  「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」では、「	ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。	るとともに、プログラムの基本的なてほしい。本教科は後に学習するプ 数学の基礎知識、教科書を読むため とし中間試験について、60点に達し 上限として評価する。また、12月に 基本的に毎週、プログラミング作 の、GitHubのアカウントが必要であ
授業の □ アク:	ティブラー	ロ	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別がある。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの思力。 はめ要求される基礎知識の範囲>プロに力。 横の評価方法および評価基準> して中間・期末の4回の試験を80%。にはそれを補うための再試験を行うこに情報オリンピックの成績を学業成績の得要件> 議で60点以上を取得すること。 ト等> 授業の理解を深めるため、プニト課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でなる教科である。グラム演習の問題を理解したポートを20%で評さがある。これについて評価に加えることがある。ログラム作成技術を向上ででのmを利用して課題提出である。	ではるための数 ではるではなる。 ではもの点をします。 にはもの点をします。 にさせるため、 出を行うため、 との到達目標 により。 ことの対達目標でプログストルの文法の	るとともに、プログラムの基本的なでほしい。本教科は後に学習するプログラムの基礎知識、教科書を読むためないのでは、60点に達した限として評価する。また、12月に基本的に毎週、プログラミング作り、GitHubのアカウントが必要であり、写すのであり、第8経験のある教員による授助のであり、第2を作成する手順を理解している。
授業の □ アク:	ティブラー	C	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基いがあまずされる基礎知識の範囲>プロがある。呼価を整めますされる基礎知識の範囲>プロがある。以上の評価を整合では、はて中間・期末の4回の試験を80%にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを神らないと言います。後期はGitHub Classである。 フェート 課題を課す。後期はGitHub Classでは、アート には、アート には、アート・アート には、アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でなる教科である。グラム演習の問題を理解してポートを20%で評したがある。これについて評価に加えることがある。コグラム作成技術を向上ででののを利用して課題提出は、	でを理解しています。 はもの のまたではもの 点を しませる ため、 はもの 点を しませる ため、 はを 行う ため にまた できます こく	るとともに、プログラムの基本的なでほしい。本教科は後に学習するプログラムを作成する手順を理解している。  「裏務経験のある教員による授業のである。」  「実務経験のある教員による授業のである。」  「実務経験のある教員による授業のである。」  「実務経験のある教員による授業のである。」  「実務経験のある教員による授業のである。」  「関係を理解している。」  「関係している。」  「関係している。」  「関係を関係している。」  「関係している。」  「対象を表現している。」   「はなる。まれている。まれている。まれている。まれている。まれている。まれている。まれている。まれている。まれている。まれている
授業の     アク:	ティブラー:	ロ	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基別がある。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの思力。 はめ要求される基礎知識の範囲>プロに力。 横の評価方法および評価基準> して中間・期末の4回の試験を80%。にはそれを補うための再試験を行うこに情報オリンピックの成績を学業成績の得要件> 議で60点以上を取得すること。 ト等> 授業の理解を深めるため、プニト課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切で でアルゴリズム)の大切で でラム演習の問題を理解 レポートを20%で評して とがある。これについて 評価に加えることがある ログラム作成技術を向上を でのので利用して課題提 □ 遠隔授業対応 □ 3.3 4.0 のの	でを理解しています。 ただでは 6 0 点を かっという できる	るとともに、プログラムの基本的なでほしい。本教科は後に学習するプログラムの基礎知識、教科書を読むためない。 また、12月には中間試験について、60点に達した限として評価する。また、12月には、基本的に毎週、プログラミング作り、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、単解している。 理解している。 に次処理(入力・四則計算・出力などができる。
授業の □ アク:	ティブラー	C	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基いがあまずされる基礎知識の範囲>プロがある。呼価を整めますされる基礎知識の範囲>プロがある。以上の評価を整合では、はて中間・期末の4回の試験を80%にはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを補うための再試験を行うこにはそれを神らないと言います。後期はGitHub Classである。 フェート 課題を課す。後期はGitHub Classでは、アート には、アート には、アート・アート には、アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・	(アルゴリズム)の大切で で	でを理解しています。 ただでは 6 0 点を かっという できる	るとともに、プログラムの基本的なてほしい。本教科は後に学習するプログラムを な学の基礎知識、教科書を読むためて、60点に達した。 し中間試験について、60点に達した。 上限として評価する。また、12月には、基本的に毎週、プログラミング作り、のでは、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月
授業の □ アク: 授業計i	ティブラー:	□ < の < な行く < 成る	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基いでめ要求される基礎知識の範囲>プロけカ。 績の評価方法および評価基準> して中間・期末の4回の試験を80%、 にはそれを地でありの成績を学業成績の再試験を行うの成績を学業成績のでは多いではありませまではあること。 情報オリンピックの成績を学業成績のでは、大等> 授業の理解を深めるため、プート課題を課す。後期はGitHub Class	(アルゴリズム)の大切でアルゴリズム)の大切でである。 グラム演習の問題を理解  レポートを20%で評していてでいてででは、これについてででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	でではいる。 には の の の の の の の の の の の の の の の の の の	るとともに、プログラムの基本的なでほしい。本教科は後に学習するプログラムを疑知識、教科書を読むためいて、60点に達し上限として評価する。また、12月に基本的に毎週、プログラミング作の、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、要務経験のある教員による授美の基本を理解している。 理解している。 「次処理(入力・四則計算・出力などができる。」 「代判断による場合に応じた処理のできる。」
授業の □ アク: 授業計i	ティブラー:	□ < の < な行く < dる	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基いでめ要求される基礎知識の範囲>プロけカ。 績の評価方法および評価基準> して中間・期末の4回の試験を80%、 にはそれを補うための再試験を行うこでは多ながであること。 情報オリンピックの成績を学業成績のにはそれを取得すること。 を1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、	(アルゴリズム)の大切で で	でではいる。 には の の の の の の の の の の の の の の の の の の	るとともに、プログラムの基本的なてほしい。本教科は後に学習するプログラムを な学の基礎知識、教科書を読むためて、60点に達した。 し中間試験について、60点に達した。 上限として評価する。また、12月には、基本的に毎週、プログラミング作り、のでは、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月には、12月
授業の □ アク: 授業計i	ティブラー:	C	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基にしる要求される基礎知識の範囲>プロ法人の評価を基準>にして中間・期末の4回の試験を80%、信報オリンピックの成績を学業成績のに得要件>に表で60点以上を取得すること。とのでは、一下課題を課す。後期はGitHub Classでは、フログラムの作成と実行画面への出力は、上下がらの入力式と演算子に対し、「はないとは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	(アルゴリズム)の大切で で	ではない。 はない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 に	るとともに、プログラムの基本的なではしい。本教科は後に学習するプログラムを疑知識、教科書を読むためいて、60点に達し上限として評価する。また、12月に基本的に毎週、プログラミング作の、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、要務経験のある教員による授賞を基本を理解している。 理解している。 「次処理(入力・四則計算・出力などができる。 「・代判断による場合に応じた処理のできる。」
授業の	ティブラー:	Part	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基でした。 であっまである。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの型に力。 にはるれる基礎知識の範囲>プロに対して中間・期末の4回の試験を80%。 にはそれケンピックの成績を学業成績のにはそれケーでではあること。 にはそれりンピックの成績を学業成績のにはそれりというでは、一下等とはでは、一下等とはでは、一下等とは、一下等とは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で	(アルゴリズム)の大切で で	ではない。 はなのの。 にはなるの。 にはなるの。 にはなるの。 にはなるの。 にはなるの。 にはなるの。 にはなるの。 にはを行うため、 との到達目で によっ。 にはなるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないできるでで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 にはないで、 に	るとともに、プログラムの基本的なでほしい。本教科は後に学習するプログラムをを受ける。本教科は後に学習するプログラを受ける。また、12月には、基本的に毎週、プログラミング作り、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、「実務経験のある教員による授業を理解している。 「実際理解している。 「実際理(入力・四則計算・出力などができる。」 「学習を持ちます。」 「学習を持ちます。「大学学習を持ちます。」 「おいますができる。」 「おいますが、「おいますができる。」 「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「おいますが、「いますが、「おいますが、「いますが、「いますが、「いますが、」 「おいますが、「いますが、「いますが、「いますが、」 「おいますが、「いますが、」「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、」「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いまが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いますが、「いまりが、「いまりが、「いますが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが、「いまりが
授業の □ アク: 授業計i	ティブラー:	Part	習得することが目的である。処理手順設計、データ構造とアルゴリズムの基がして、カースの関係を表して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対	(アルゴリズム)の大切ででは、アルゴリズム)の大切である。 グラム演習の問題を理解していている。 これについて評価に加えることがある。 こがある。 これについて では できます できます できます できます できます できます できます できます	ではない。 はない ではない できます では できます できます できます できます できます できます できます できます	るとともに、プログラムの基本的なでほしい。本教科は後に学習するプログラムを疑知識、教科書を読むためませい。本教科は後に学習するプログラを受けている。また、12月に基本的に毎週、プログラミング作り、GitHubのアカウントが必要であり、GitHubのアカウントが必要であり、「実務経験のある教員による授業のできる。」という。 「次処理(入力・四則計算・出力などができる。」というとは、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」というには、「ないできる。」  「ないできる。」というには、「ないできる。」 「ないできる。」というには、「ないできる。」 「ないできる。」 「ない

		12週	ア	ドレス	ポインタ	タ				 味とその俳	いかたを	理解	している.
		13週		<u>・レハ,</u> 数とポ~					8. ポインタの意味とその使いかたを理解している.				
		14週			<u></u> インタの閉	<b>関係</b>			9. 配列のしくみについて理解している.				
		15週	演	習					上記1~9				
		16週											
		1週	配	列とポー	インタ	10. 配列とポインタの関係を成できる			理解し,プログラムを作				
		2週	ス	コープ,	記憶寿命	त्र			11. 型と変数,記 ,プログラムを作	憶寿命とス 成できる	コープの	概念	を理解し
		3週	er	num, ty	/pedef, 柞	構造体			12. 列挙型,構造 ログラムを作成で	体のデータ きる	構造につ	いて	理解し,プ
	3rdQ	4週	動	的なメモ	ミリ確保				13. 動的メモリを リを使いプログラ	確保する必 ムを作成で	要性を理	解し	、動的メモ
		5週	ク	ラスとス	オブジェク	<u></u> フト			14. クラスとオブ	ジェクトに	ついて説	明で	 きる
		6週	ク	ラスのに	E義, コン	/ストラクタ			15. 簡単なクラス	を作成し,	プログラ	ムを	作成できる
		7週	復	習					上記10-15				
		8週	中	間試験					これまでに学習し	た内容を説	明できる		
後期		9週	参	照					16. 参照の概念を 用できる	注理解し、説	説明でき、	プロ	Iグラムで利
		10週	継	 承				17. 継承の概念を理解し、派生クラスを作成してプログラムを作成することができる					
		11週	仮	想関数		18. 仮想関数の概念を理解し,派プログラムを作成することができ				, 派生ク できる	派生クラスを作成して できる		
	4thQ	12週	抽	象クラス	ζ	19. 純粋仮想関数, 抽象ク 承の概念を理解し、プログ			,抽象クラ 、プログラ	ス,仮想	クラでき	 ス,多重継 る	
		13週	演	算子関数	汝				20. 演算子関数の概念を理解し、プログラムを作成できる				
		14週	演	算子関数	 汝				同上				
		15週	復	習					上記16-20				
		16週											
モデルニ	]アカリ:	キュラム	ムの学	習内容	8と到達	目標							
分類		分	·野	学習	内容	学習内容の到達目	<del></del>				到達レベ	ソレ	授業週
						プログラミングの	基本的な構造	造を理解	解し、プログラムを	を記述でき	3		
						サブルーチンの概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。			ムを記述で	3			
専門的能力	分野別 門工学	の専   の専   _情	報系分	野 プロ	]グラミ デ				スプログラ	3			
ילטמניםני ודא	'  門上字 		- CC/NVJ-	1 20	,	与えられたソースプログラムを解析し、プログラムの動作を予》  できる。			動作を予測	3			
						ソフトウェア生成に必要なツールを使い、ソースプログラムを 行できる。			ブラムを実	3			
						主要な言語処理プ	ロセッサの	種類と特	- 寺徴を説明できる。		1		
評価割合	<del>'</del>			'									
F1 154171		 験		課題		相互評価	態度		発表	その他	[.	合計	
総合評価害				20		0	0		0	0		100	
配点	80			20		0	0		0	0		100	
	1						-		1				

給鹿	工業高等	 専門学校	開講年度 令和06年度 (2		授業科目				
科目基礎		<u> </u>	1754 1754 15400 175 (2	10211192)	JANIA I				
科目番号		0017		科目区分	専門 / 必修	<b>E</b>			
授業形態		実験・乳	美習	単位の種別と単位数	複 履修単位:	2			
開設学科			报工学科	対象学年	1				
開設期		後期		週時間数	4				
教科書/教	材		とに資料を用意する						
担当教員 到達目標	<del></del>	半野 武	範,伊藤 明,森 育子,桑野 一成						
				<u></u>	専門田語および	 ま木的な機器 ソフトウエアの使用			
方法を理解	解しており,	データ整理	ラシー, ネットワークリテラシー, プロ· 里, 実験誤差に関する検討ができ, さら	に、得られた結果を	論理的にまとめ,	報告することができる.			
ルーブリ	<u> </u>					T			
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル		未到達レベルの目安			
評価項目1	L		計測機器の取り扱いを応用できる  .	基本的な計測機器の さる.	り取り扱いかで	基本的な計測機器の取り扱いができない.			
評価項目2	2		電子回路の各種素子を回路に応用できる.	基本的な電子回路の明できる。	D各種素子を説	基本的な電子回路の各種素子を説明できない.			
評価項目3	3		Arduinoを用いたLEDやセンサの応 用的な制御ができる	Arduinoを用いた基 ンサの制御ができる		Arduinoを用いた基本的なLEDやセンサの制御ができない.			
評価項目4	1		C++言語により応用的なプログラムができる.	C++言語により基 ムができる.	本的なプログラ	C++言語により基本的なプログラムができない.			
評価項目5	5		HTMLを用いて応用的なホームペー ジを作成ができる.	HTMLを用いて基本 ジを作成ができる.	 的なホームペー	HTMLを用いて基本的なホームページを作成ができない.			
学科の至	]達目標耳	頁目との関	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
教育方法	去等								
概要		電子情報 量を電気 では、C , Ardui	服工学の基礎的な概念と技術の習得を目 気量に変換するシステムを通して,報告 C++言語により基本的なプログラムの基 inoに関する基本的な知識と技術を習得る	的とした実験,製作 書作成法の習得,基 礎知識について習得 する.	および演習を行 本計器の取り扱い する. さらに, ]	テう. 電気電子基礎実験では,物理 Nに習熟する. また,情報基礎実験 プログラムの応用例として			
授業の進め	め方・方法	各週のア	内容は電子情報工学科の学習・教育到達[	目標(B) <展開> オ	らよび(C) <発	表>に相当する.			
注意点		各マ学く本必く実く中で成ら対にポーツを持続を対している。	8得要件> 責で60点以上を取得すること. いじめ要求される基礎知識の範囲> は情報処理 I やプログラミング基礎の学 なることがある. - ト等> 7後,実験報告書(レポート)を提出する.	習が基礎となる教科 る.指定された期限 野)に関して理解し	評価点(100点満点)の平均点により評価する. 科である. MS-Windows, Linuxの基本的な操作が 限内に提出されない場合には,減点の対象となる. していることが大切である. 本教科は後に学習する 教科である.				
授業の原	属性・履修	多上の区分	<u>'</u>						
□ アクテ	ーィブラーニ	ニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業			
授業計画	<u> </u>	1	I	1					
		週	授業内容		ごとの到達目標				
		1週	構造化文章 TeX	ا ا		再返化文音作成の基本を連解してい			
		2週	HTMLを用いたホームページ作成(1)	2	. HTMLの基礎知				
		3週	│HTMLを用いたホームページ作成(2) │		記2				
	3rdQ	4週	UNITYを用いたゲーム開発体験(1)		. UNITYを用い ている.	て基本的なゲーム開発の方法を理解			
		5週	UNITYを用いたゲーム開発体験(2)	上	記 3				
		6週	UNITYを用いたゲーム開発体験(3)		記3				
		7週	計測基礎(計測誤差,計算誤差,有効	MT2V) I.	4. 電子計測に必要な基礎(誤差、有効桁数)を理解している。				
後期		8週	後期中間試験						
1文刊		9週	電子基礎(1)		測定器の取り扱 る.	い・オームの法則について理解して			
		10週	電子基礎(2)	6.	キルヒホッフの	法則について理解している.			
		11週	電子基礎(3)			の基本について理解している.			
	4+h0	12週	電子基礎(4)			(抗器の原理について理解している			
	4thQ	13週	回転時計の製作(1)			ン制御電子回路の組み立てができる			
		14週	回転時計の製作(2)		グラムを理解で	Iいたモータ駆動、LED点灯制御のプ きる。			
		15週 16週	回転時計の製作(3)	<u></u>	上記10				
		1.0%	1						

モデルコス	^ァ カリキュ [:]	ラムの学習	内容と到				
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
				目的に応じて適切な実験手法を選択し、実験手順や実験装置・測定器等の使用方法を理解した上で、安全に実験を行うことができる。		3	
		工学実験技 術	工学実験技術	実験テーマの目的を理解し、適切な手法により取得したデータから近似曲線を求めるなど、グラフや図、表を用いて分かり易く効果的に表現することができる。		3	
				個人あるいはチームとして活動する際、自ら 験・実習を実施することができる。	個人あるいはチームとして活動する際、自らの役割を認識して実		
基礎的能力	工学基礎			コンピュータの構成とオペレーティングシス 理解し、基本的な取扱いができる。	、テム(OS)の役割を	1	
		情報リテラ	    情報リテラ	アナログ情報とデジタル情報の違いと、コン データ(数値、文字等)の表現方法について説	ピュータ内における 明できる。	1	
		シー	     	基礎的なプログラムを作成できる。		3	
				計算機を用いて数学的な処理を行うことができる。		2	
				基礎的なアルゴリズムについて理解し、任意のプログラミング言語を用いて記述できる。		2	
		電気・電子 系分野 (実 験・実習能		実験装置・器具・情報機器等を利用して直流 を測定できる。	や交流の電気的特性	3	
			電気・電子  玄分野(宝	実験装置・器具・情報機器等を安全に正しく利用できる。		3	
	分野別の工		験・実習能	直流回路の電気諸量を測定し、結果を考察できる。		3	
専門的能力	学実験・実 習能力	カ)	カ)	交流回路の電気諸量を測定し、結果を考察できる。		2	
	百能刀			マイコンやPCを用いた制御回路の使用法を習得する。		2	
		情報系分野 (実験・実 習能力)	情報系分野 (実験・実 習能力)		与えられた問題に対してそれを解決するためのソースプログラム を、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できる。		
評価割合							
			実	験報告書	 合計		
総合評価割合	<u> </u>		10	00			
配点			10	00	100		